



NKE

詳細取扱説明書

UNC-WRP51A

TLS対応無線LANれんら君

Ver.1.5

本製品を安全に正しくご使用いただくためにこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解された上でご使用ください。

NKE株式会社

EUNC-WRP51A-801F

取扱説明書変更履歴

バージョン	日付	変更内容
EUNC-WRP51A-801A (V-1.0)	2021.09.27	リリース初版
EUNC-WRP51A-801B (V-1.1)	2021.12.21	P.7、22：使用メールについて注意文追記：移動体通信事業者のキャリアメールやログインに2段階認証が必要なサービスのメールアドレスは使用不可
EUNC-WRP51A-801C (V-1.2)	2022.03.04	注意事項及び、保証内容について追記
EUNC-WRP51A-801D (V-1.3)	2023.12.22	P.10：電源接続用端子台に端子名を追記
EUNC-WRP51A-801E (V-1.4)	2024.01.09	P.45、46、48、51：SSL証明書ファイル作成に際して文言追加、P.46：イメージ画像追加、P.58：会社情報更新
EUNC-WRP51A-801F (V-1.5)	2024.04.08	P.24：SMTPサーバー設定画面の画像を変更

ご注意

- 本製品と本書に関する著作権、その他すべての権利はN K E 株式会社に帰属します。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することを禁止します。
- 本製品の仕様及び外観と本書の内容は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品を使用した、他社に損害を与える行為、または損害を与える可能性のある行為を禁止します。
- 本書の内容に関しまして誤りや記載もれなどお気づきの点がございましたら、お手数ですが弊社までお知らせください。

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
正しくご使用いただくためにこの取扱説明書をよくお読みください。

安全にまた正しくお使いいただくために

注意

- 本製品は必ず仕様範囲内でお使いください。
- 配線作業を行うときは必ず電源を切ってください。
- 本製品の端子台と接続する電源は十分なノイズ対策を講じたDC24V安定化電源をご使用ください。
- LAN伝送ラインや入出力ラインは高圧線や動力線と離してご使用ください。
- 誤配線はトラブルの原因となります。接続用端子の信号表示にあわせて接続してください。
- 静電気や衝撃などに十分注意してお取り扱いください。
- 本製品は宇宙、航空、医療、原子力、運輸、交通、各種安全装置など人命、事故にかかわる特別な品質、信頼性等が要求される用途でご使用にならないでください。

保証について

本製品の保証は日本国内で使用する場合に限りです。

保証期間

納入品の保証期間は納入後 1 年とします。

保証範囲

上記保証期間中に本取扱説明書に従った製品使用範囲内の正常な使用状態で故障を生じた場合は、その機器の故障部分の交換または修理を無償で行います。

ただし、次に該当する場合はこの保証の範囲から除外させていただきます。

- (1) お客様の不適切な取り扱い、ならびに使用による場合。
- (2) 故障の原因がお客様の事由による場合。
- (3) お客様の改造または修理による場合。
- (4) その他、天災、災害等で納入者の責にあらざる場合。
- (5) お客様のネットワーク環境の不具合等によりメールが送信されない場合。

ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

有償修理

保証期間後の調査及び修理は全て有償となります。また保証期間中においても、上記保証範囲外の理由による故障の修理及び故障の原因調査（保証範囲の場合を除く）は有償にてお受け致します。修理に関するご依頼はお買い上げの販売店にお申しつけください。

部品のご注文、お問い合わせ

製品の故障、部品のご注文、その他お問い合わせの節は、次の事項をお買い上げの販売店まで詳しくご連絡ください。

- (1) 型式
- (2) 製造ロット番号
- (3) 不具合の内容、配線図等

目次

取扱説明書変更履歴.....	2
1 概要.....	8
2 動作環境.....	8
3 ハードウェア仕様.....	9
3-1 システム接続図.....	9
3-2 各部の名称と機能.....	10
3-3 外形寸法.....	11
3-4 機能、電気的特性.....	12
3-5 各種接続.....	13
3-5-1 コネクタの仕様.....	13
3-5-2 入出力回路.....	13
3-5-3 入出力機器の接続例.....	14
4 設定.....	15
4-1 設定ソフトのインストール.....	15
4-1-1 WindowsPCの場合.....	15
4-1-2 Android, iOS端末の場合.....	18
4-2 動作モードの切り替え.....	18
4-2-1 無線LAN動作での設定準備.....	18
4-3 設定画面へのアクセス方法.....	19
4-3-1 WindowsPCの場合.....	19
4-3-2 Android, iOS端末の場合.....	22

4-4 設定を行う.....	23
4-4-1 HOME.....	23
4-4-2 SMTPサーバー設定.....	24
4-4-3 テストメール送信.....	25
4-4-4 入力0(1)設定.....	26
4-4-5 入力0(1)メール設定.....	27
4-4-6 出力設定.....	28
4-4-7 KeepAliveメール設定.....	29
4-4-8 有線ネットワーク設定.....	30
4-4-9 無線ネットワーク設定.....	31
4-4-10 無線LAN接続設定.....	32
4-4-11 システム設定.....	33
4-4-12 設定内容のインポート/エクスポート.....	34
4-4-13 設定反映.....	36
5 れんら君2管理ツールの詳細機能.....	37
5-1 れんら君サーチ.....	37
5-2 ファームウェアの更新.....	39
5-2-1 ファームウェアファイルを入手する.....	39
5-2-2 れんら君をファームウェア更新モードにする.....	40
5-2-3 ファームウェアを更新する.....	40
5-3 SSL証明書設定ファイルの作成.....	43
5-3-1 証明書ファイルを作成する.....	44
5-3-2 証明書ファイルをれんら君にインストールする.....	47

5-3-3 証明書ファイルを取得する(参考)	48
5-3-3-1 OpenSSLのインストール	48
5-3-3-2 証明書を変換する	49
5-3-3-3 サーバーから取得する	49
5-3-3-4 証明書の内容を確認する	52
6 メンテナンス	53
6-1 設定の初期化方法	53
6-2 れんら君LEDの点灯パターン	54
6-3 強制親機起動	55
6-4 メールの再送信について	55
6-5 FAQ	55

1 概要

- ・ れんら君は、センサの検知などで発生する入力イベントにより、あらかじめ設定されたメールを自動で送信するユニットです。
- ・ 既存の設備などに取り付けることにより、設備の異常や環境の変化をメールでお知らせするシステムが容易に構築できます。

2 動作環境

れんら君の設定は、パソコンやスマートフォンのブラウザ経由で行います。

また、設定画面へアクセスする際、専用のソフトをインストールする必要があります。

れんら君の設定をするためには、以下の環境をご用意ください。

対応 OS : Windows 10 / 8.1 / 7 (64bit/32bit)

iOS 12 以上

Android 7.0 以上

※MacOS には対応しておりませんのでご了承ください。

ブラウザ : HTML5、CSS3、JavaScript 有効なものがインストールされていること

(推奨ブラウザ: Chrome、Edge)

設定ソフトおよびれんら君は IPv6 に対応していません。必ず IPv4 の環境でお使いください。

また、れんら君との通信に以下のポートを使用します。ファイアウォール等で通信が遮断されない

ようにパソコンのセキュリティソフトなどの設定を行ってください。

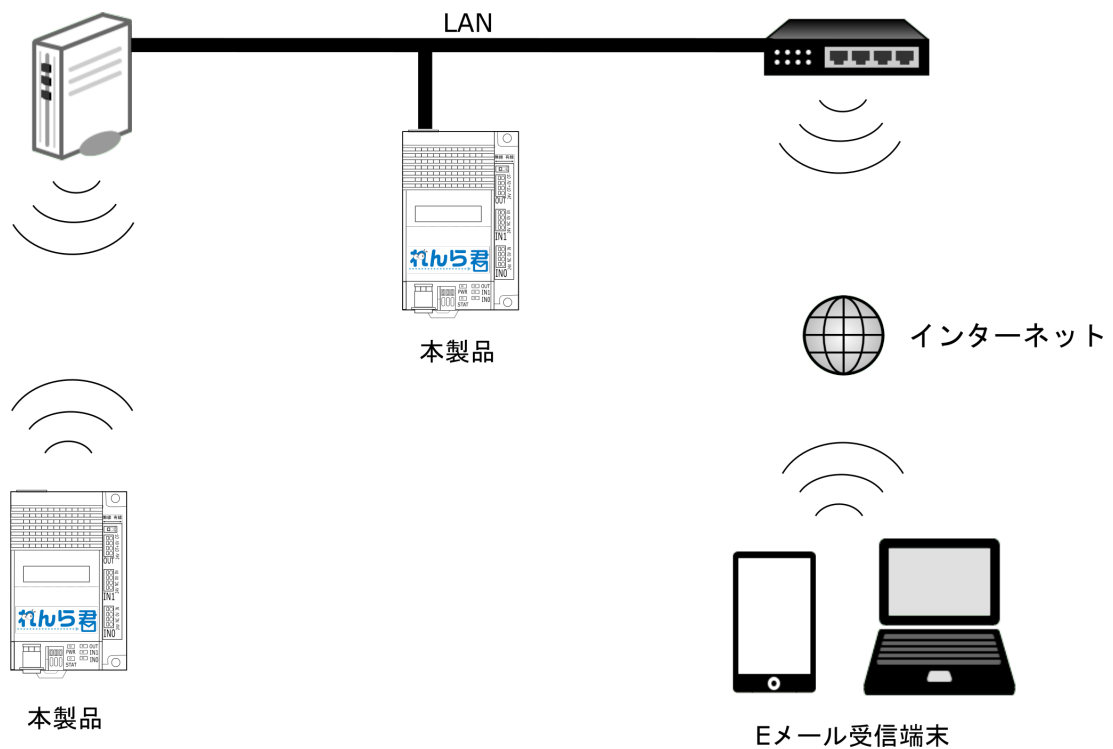
使用ポート番号 : 9998、30719

3 ハードウェア仕様

3-1 システム接続図

無線LANアクセスポイント

インターネット接続機器



本製品は有線 LAN もしくは無線 LAN に接続して使用します。

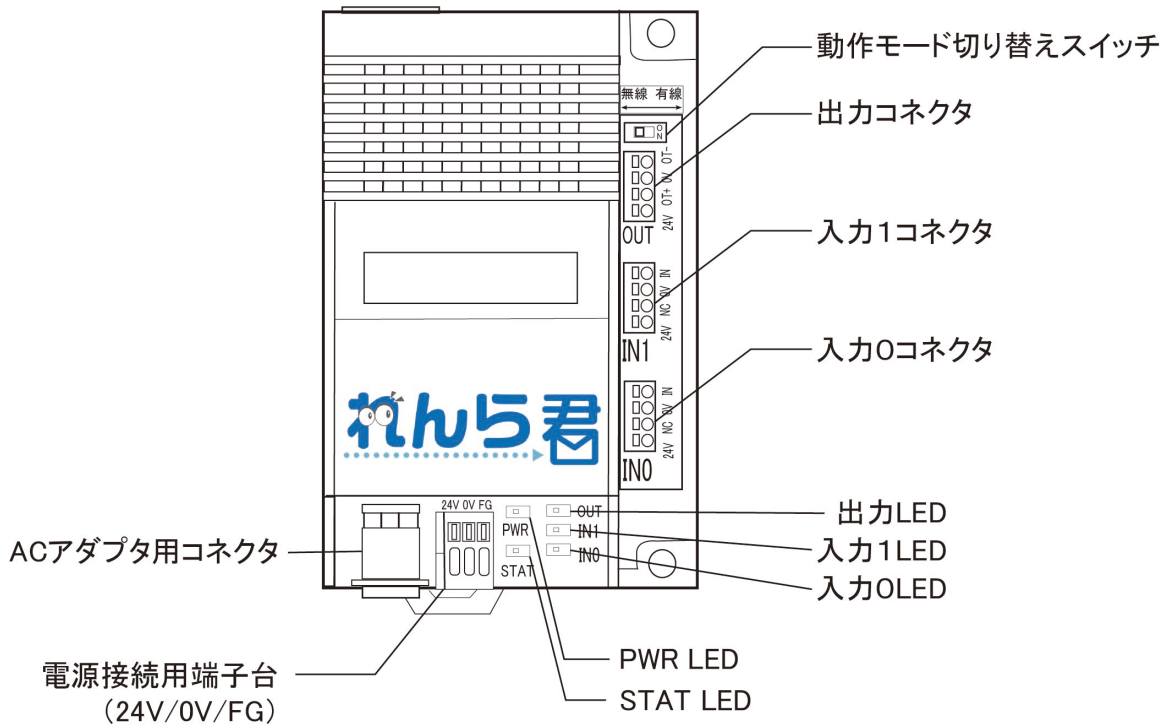
本製品をインターネットに接続するためには無線ルーター等インターネット接続機器が別途必要になります。

メール機能をご利用になるためにはメール送信用のメールアドレス（※注1）が別途必要になります。

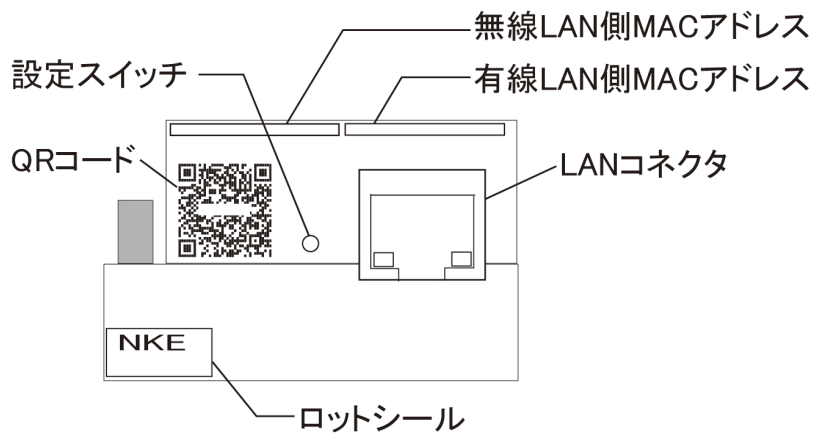
※注1：移動体通信事業者のキャリアメールやログインに2段階認証が必要なサービスのメールアドレスは使用できません。

3-2 各部の名称と機能

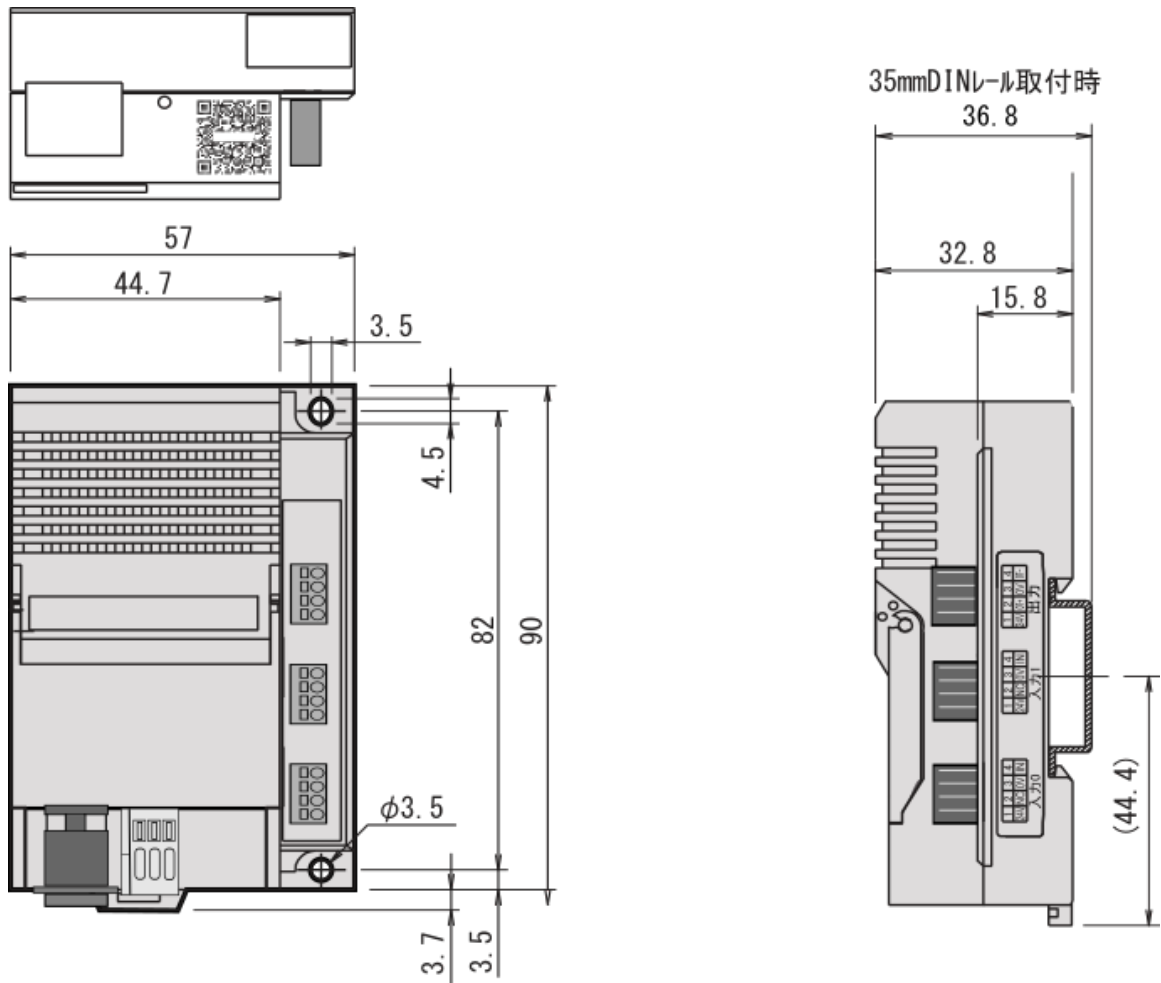
(上面)



(後面)



3-3 外形寸法



入力コネクタピン配列



4	IN
3	0V
2	NC
1	24V

出力コネクタピン配列

4	0T-
3	0V
2	0T+
1	24V

3-4 機能、電気的特性

使用周囲温度	0℃～+55℃
保存温度	-20℃～+70℃
使用湿度	35%～85%RH (結露なきこと)
雰囲気	腐食性ガスや可燃性ガスのなきこと
消費電力	2.0Wmax. (DC24V負荷消費電流を含まず)
重量	約90g (ACアダプタ別)
ACアダプタ	定格AC100V 50/60Hz 最大入力AC240V
電源電圧	DC24V +15% -10% (安定化電源)
端子台電流通過容量	0.5Amax. (端子台の0V-0V間)
耐ノイズ	電源端子±2kV 伝送線±1kV (IEC61000-4-4 Level 3)
耐静電気	接触/4kV (IEC61000-4-2 Level 2)
	気中/8kV (IEC61000-4-2 Level 3)
絶縁抵抗	外部端子と外箱間 20MΩ以上
耐電圧	外部端子と外箱間 AC1000V 1分間
耐振動	10～55Hz複振幅0.5mm (JIS C60068-2-6準拠)
耐衝撃	100m/s ² (JIS C60068-2-27準拠)
接地	D種接地 (旧 第3種接地)

Ethernet規格	Ethernet : Version 2.0 / IEEE 802.3準拠	
データ転送速度	10Mbps/100Mbps自動認識	
Ethernetインターフェイス	LANコネクタ(10BASE-T,100BASE-TX) ストレートケーブル/クロスケーブル自動判別	
通信方式	Full/Half Duplex(自動切り替え)	
ポート数	1ポート	
ケーブルサポート	10BASE-T	UTPまたはSTPケーブル カテゴリ3,4または5 (最長100m)
	100BASE-TX	UTPまたはSTPケーブル カテゴリ5(E) (最長100m)
無線LAN規格	IEEE 802.11b/g/n	
周波数	2.4GHz帯	
セキュリティ	なし/WEP/WPA/WPA2 (デフォルト:なし)	
SSID	最大32文字 (デフォルト:NKE-Renrakun_○○○○○○○) ※○は無線LAN側MACアドレス下6桁	
パスワード	最大64文字 (デフォルト:なし)	
IPアドレス	192.168.251.1 (無線LANアクセスポイント起動時)	
チャンネル	CH1	
認証	FCC, ISED, CE, MIC, KCC, NCC, SRRC	
国内技適マーク	  005-101762	

3-5 各種接続

3-5-1 コネクタの仕様

- ・ 入出力コネクタ

型式 : PTSM 0,5/ 4-2,5-V THR R44 [PHOENIX CONTACT]

適合電線 : AWG 26~20、導体断面積 0.14~0.5mm²

- ・ 電源接続用端子台

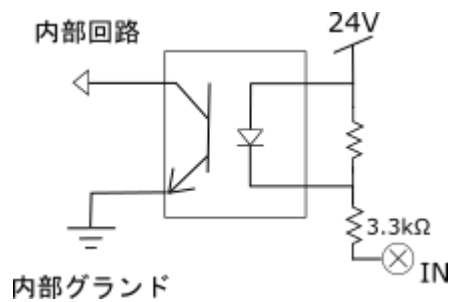
型式 : PTSA 0,5/ 3-2,5-F [PHOENIX CONTACT]

適合電線 : AWG 24~20、導体断面積 0.14~0.5mm²

3-5-2 入出力回路

- ・ 入力回路

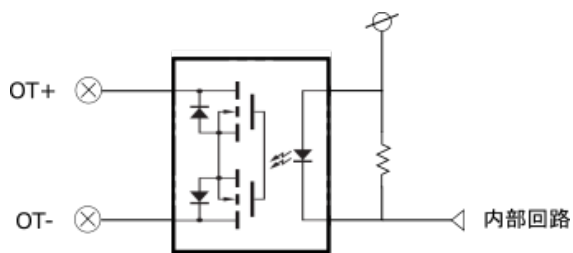
入力電流仕様 : 5 m A 以上



- ・ 出力回路

出力電流仕様 : 100 m A 以下、30V 以下(AC/DCともに)

出力方式 : MOS FET リレー出力

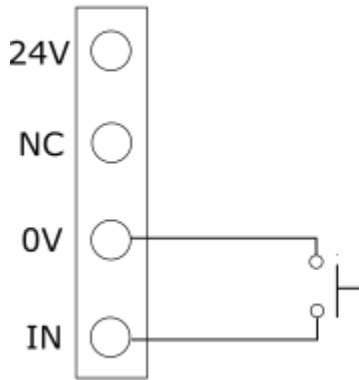


3-5-3 入出力機器の接続例

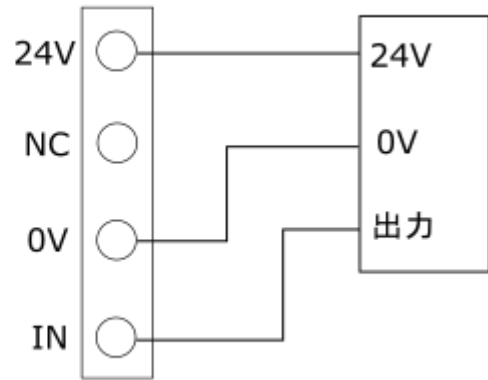
- 入力機器の接続例

入力コネクタには、センサーやスイッチ等を接続します。

スイッチやセンサー(2線式)など



3線式センサーなど



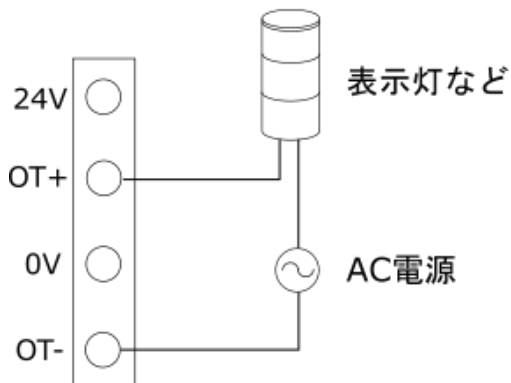
- 出力機器の接続例

出力コネクタには、LED 表示灯などを接続します。出力部はドライ接点になっておりますので、

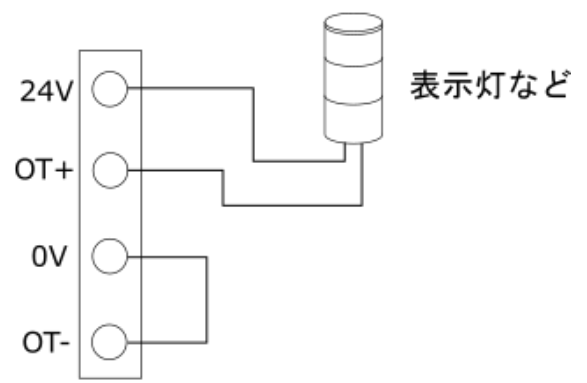
外部電源を用いて出力機器に電源を供給する必要があります。

MOS FET リレー出力容量は 100mA -DC30V/AC30V となります。

AC負荷ご使用時



DC負荷ご使用時



4 設定

4-1 設定ソフトのインストール

4-1-1 WindowsPC の場合

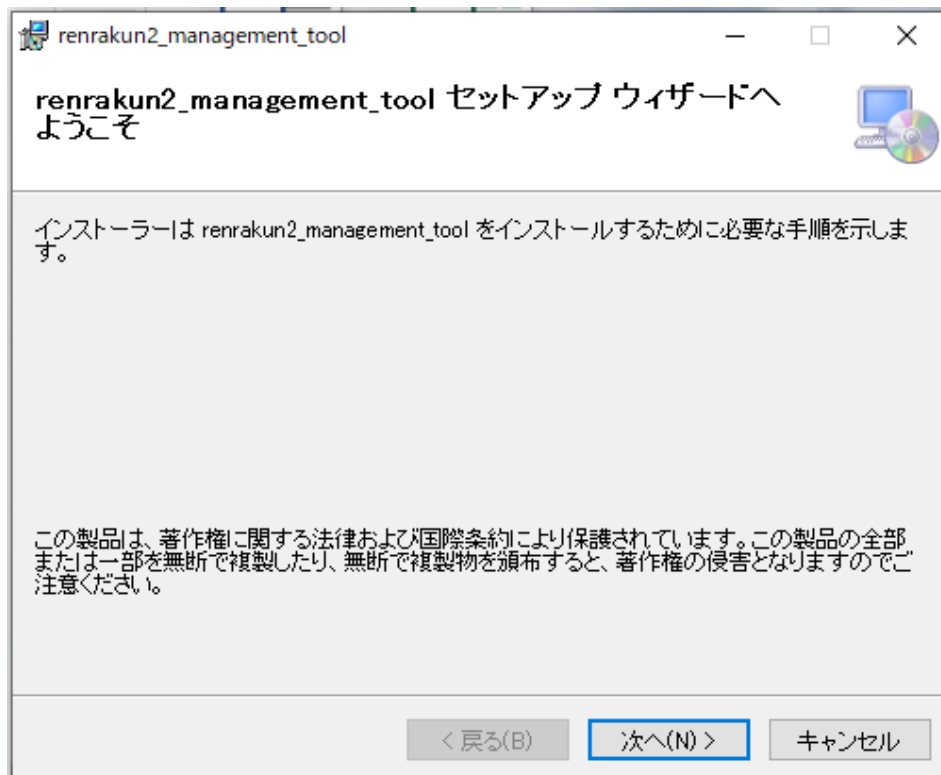
NKE のホームページより、「れんら君 2 管理ツール」フォルダをダウンロードしてください。

※ 過去にリリースしております、「れんら君サーチソフト」をご使用いただいても設定は可能です。

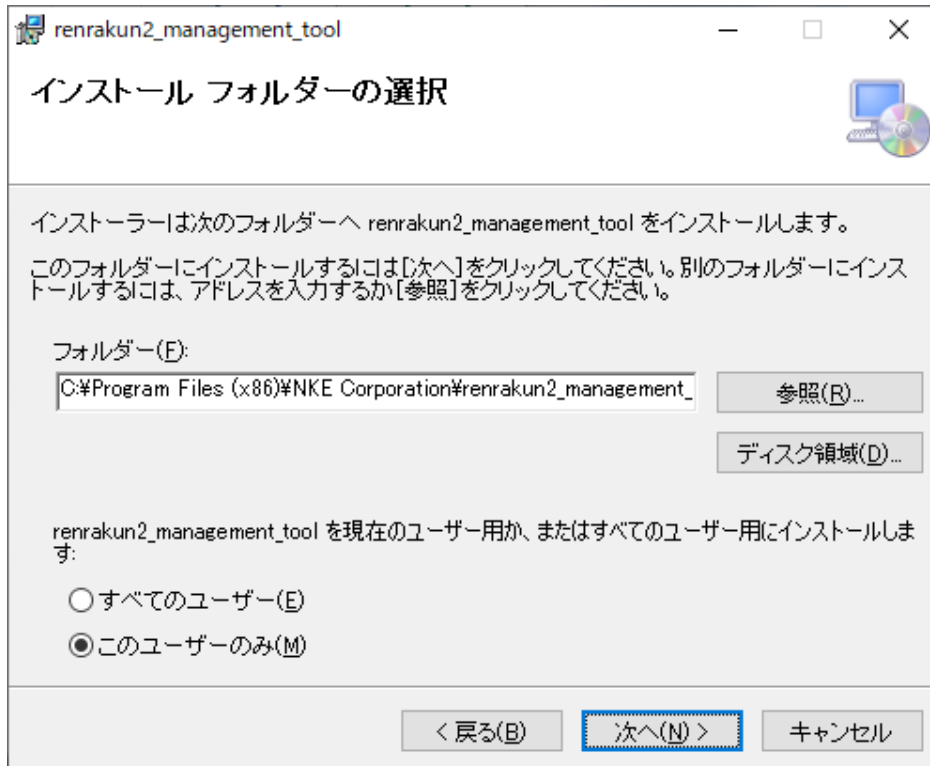
https://www.nke.co.jp/product/catalog/pdf/renra2_search.zip



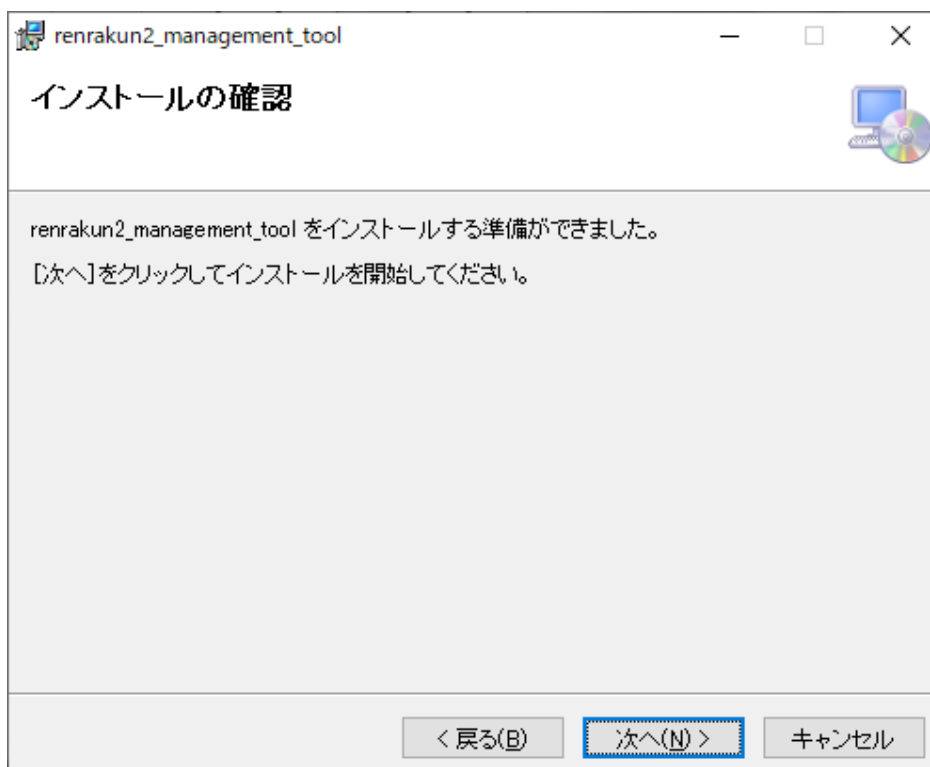
ダウンロードしたファイル「Renrakun2_Setup.msi」を起動します。



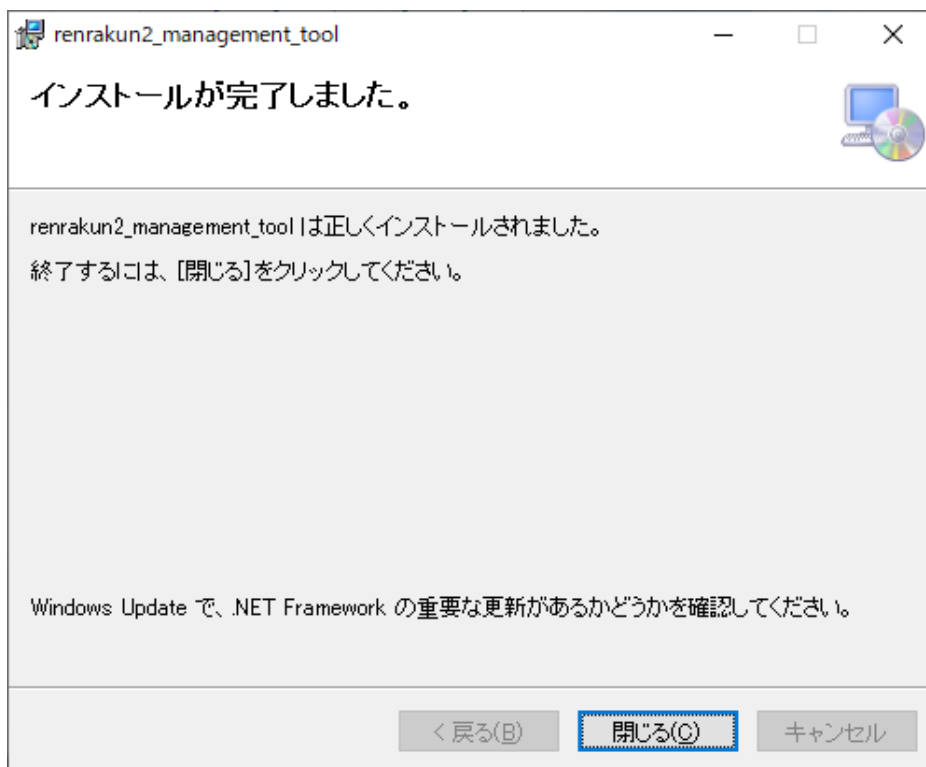
「次へ」をクリックします。



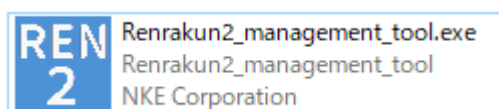
インストール先のフォルダを指定して、「次へ」をクリックします。



「次へ」をクリックすると、インストールが始まります。



正しくインストールされましたら、「閉じる」をクリックします。

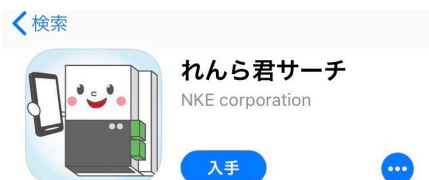


先ほどソフトウェアのインストール先に指定した場所から、

「Renrakun2_management_tool.exe」を起動します。

4 – 1 – 2 Android, iOS 端末の場合

Android、iOS 端末の場合は「れんら君サーチ」を Google Play または App Store よりそれぞれダウンロードします。



4 – 2 動作モードの切り替え

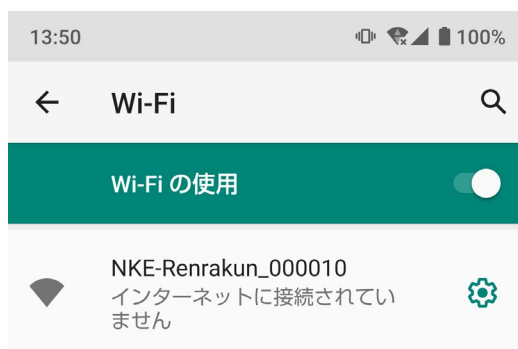
れんら君(UNC-WRP51A)は動作モード切り替えスイッチにて、有線 LAN 動作と無線 LAN 動作のどちらかに設定します。有線 LAN 動作と無線 LAN 動作を同時に動作させることはできないのでご注意ください。

また、れんら君は起動時に動作モードが決定されますので、動作中にスイッチを切り替えても動作モードは変更されません。動作モードを切り替えたい場合は、動作モード切り替えスイッチを設定した後、本体を再起動してください。

設定画面へのアクセスはどちらからでも可能です。

4 – 2 – 1 無線 LAN 動作での設定準備

れんら君(UNC-WRP51A)の無線 LAN 動作は、工場出荷設定では無線 LAN 親機(アクセスポイント)として動作します。設定画面へアクセスするためには、スマートフォンやパソコン等の無線 LAN 機能でれんら君と接続を行います。



れんら君は、SSID:NKE-Renrakun_〇〇〇〇〇〇(〇は MAC アドレス下 6 桁)として検出で
きます。パスワードは無しになっていますので、入力は不要です。

IP アドレスは DHCP 自動配信になっており、「192.168.251.2」から順に割り当てられます。

れんら君に接続すると、スマートフォンやパソコンのインターネット接続は失われますが、機種によっ
ては、インターネット未接続の Wi-Fi 接続を維持しない仕様になっていることもあります。

その場合、れんら君の設定画面へアクセスできません。

接続を維持する設定や機内モードでの使用をお試しください。

4 - 3 設定画面へのアクセス方法

れんら君の設定画面へアクセスするためには、れんら君の IP アドレスを知る必要がありますので、専
用のソフトで、ネットワークに接続されたれんら君を探索し、IP アドレスを取得します。

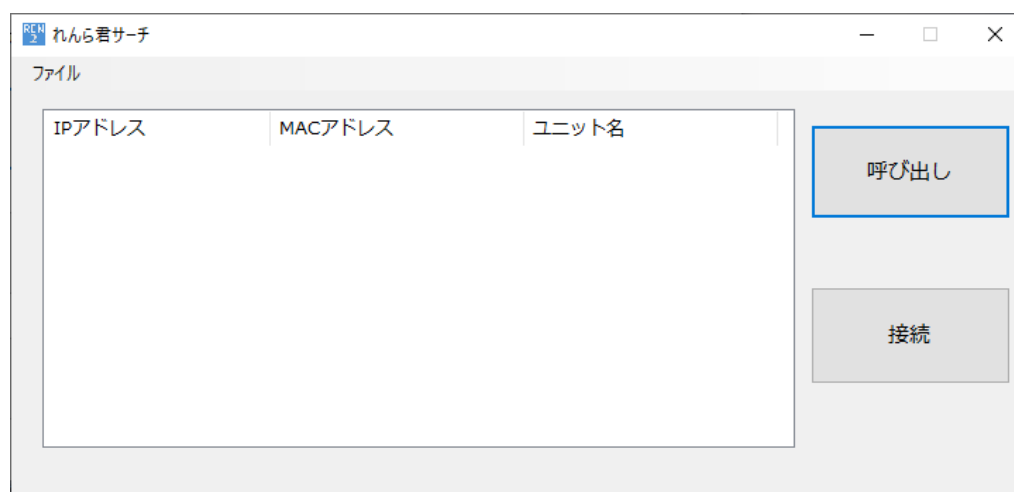
工場出荷時は DHCP 自動取得設定になっています。

DHCP で IP アドレスが取得できなかった場合、IP アドレスは「192.168.251.1」になります。

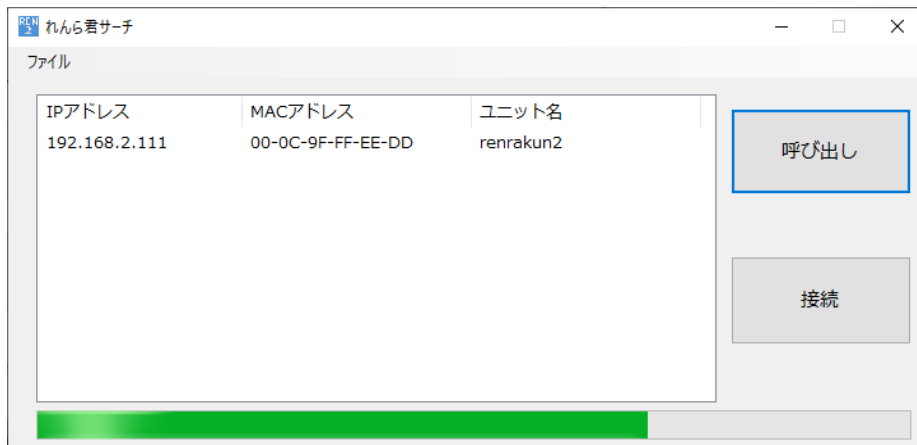
4 - 3 - 1 WindowsPC の場合

「れんら君サーチソフト」を起動、または、「れんら君 2 管理ツール」のトップ画面から、

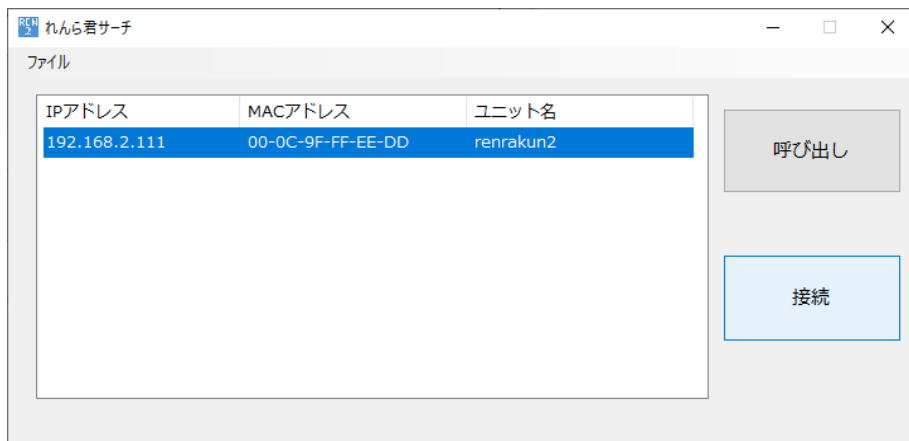
「れんら君サーチ」をクリックすると、以下の画面が開きます。



「呼び出し」をクリックすると、れんら君探索を開始します。



進捗バーが進み、中央のリストに探索で見つかったれんらく君が表示されます。



接続したいれんらく君をクリックして選択し、「接続」をクリックします。



既定のブラウザが起動し、設定画面が開きます。

ログイン

http://192.168.2.111
このサイトへの接続ではプライバシーが保護されません

ユーザー名

パスワード

※ 初回、設定画面へのアクセス時に認証パスワードの入力を求められます。

工場出荷時設定では、

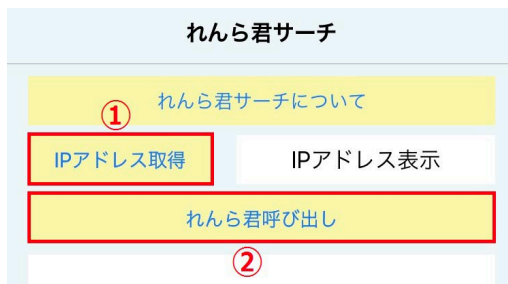
ユーザー名 : root
パスワード : root

に設定されていますので、入力して設定画面へアクセスしてください。

なお、パスワードは「システム設定」で変更可能です。

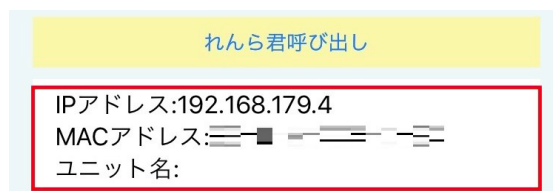
4-3-2 Android、iOS 端末の場合

インストールしたアプリを開き、「IP アドレス取得」、「れんら君呼び出し」の順にボタンをタップします。



しばらく待つと、端末と同じネットワークに接続されているれんら君がリスト表示されます。

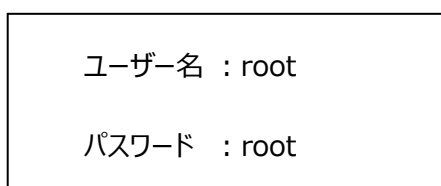
接続したいれんら君をタップします。



ブラウザが起動し、設定画面が開きます。

※ 初回、設定画面へのアクセス時に認証パスワードの入力を求められます。

工場出荷時設定では、



に設定されていますので、入力して設定画面へアクセスしてください。

4-4 設定を行う

設定画面へアクセスできましたら、画面左部、または上部のメニュー項目をクリックすることにより、各設定画面が開きます。

以下に、項目ごとの設定内容を説明します。

4-4-1 HOME

本体のファームウェアバージョンのや型式の確認ができます。

← → ↻ ▲ 保護されていない通信 | 192.168.251.1/index.html

NKE Humanized Automation

HOME

バージョン番号: 01.01
ユニット型式: UNC-WRP51A

HOME
SMTPサーバー設定
テストメール送信
入力0設定
入力1設定
出力設定
KeepAliveメール設定
有線ネットワーク設定
無線ネットワーク設定
無線LAN接続設定
システム設定
設定内容のインポート/エクスポート
設定反映

バージョン番号：ファームウェアのバージョンです

ユニット型式：本製品の型式です

4-4-2 SMTPサーバー設定

Eメールを送信するためのSMTPサーバー設定を行います。

← → ↻ ▲ 保護されていない通信 | 192.168.251.1/smtp.html

NKE Humanized Automation

HOME

SMTPサーバー設定

テストメール送信

入力0設定

入力1設定

出力設定

KeepAliveメール設定

有線ネットワーク設定

無線ネットワーク設定

無線LAN接続設定

システム設定

設定内容のインポート/エクスポート

設定反映

SMTPサーバー設定

送信用メールアドレス

メールアドレス
account@nke-renrakun.net

ユーザー名
nke-renrakun.account

パスワード 変更する

SMTPサーバー名
smtp.nke-renrakun.net

暗号化方式とポート番号

自動設定 (TLS→STARTTLS→暗号化なしの順にメール送信を試みます)

手動設定

暗号化方式 : TLS STARTTLS 暗号化なし

ポート番号 : 587

設定

メールアドレス : れんら君用のメールアドレスを入力します ※

ユーザー名 : れんら君用のメールアカウント名を入力します

パスワード : れんら君用のメールパスワードを入力します

SMTPサーバー名 : SMTPサーバーを入力します

暗号化方式 : 暗号化の種類を選択します

ポート番号 : SMTPサーバーのポート番号を入力します

※ 暗号化方式とポート番号が不明な場合は、自動設定にすることで送信可能な設定を自動で選択します。

入力が完了したら、「設定」をクリックしてください。

※移動体通信事業者のキャリアメールやログインに2段階認証が必要なサービスのメールアカウントは使用できません。

4-4-3 テストメール送信

SMTP サーバー設定が正しくできているかを確認するために、実際に機器からメールを送信します。

The screenshot shows a web interface for 'NKE Humanized Automation'. On the left is a sidebar menu with items like 'HOME', 'SMTPサーバー設定', 'テストメール送信' (highlighted), '入力0設定', '入力1設定', '出力設定', 'KeepAliveメール設定', '有線ネットワーク設定', '無線ネットワーク設定', '無線LAN接続設定', 'システム設定', '設定内容のインポート/エクスポート', and '設定反映'. The main content area is titled 'テストメール送信' and contains the text 'SMTPサーバー設定が正しく行われているか、テストメールを送信します。' Below this is a 'テストメール内容設定' section with a form. The form has three fields: 'To' with the value '(例)to@sample.co.jp', '件名' (Subject) with the value 'れんら君のテストメールです。' and '(固定)' (Fixed) next to it, and '本文' (Body) with the value 'これはれんら君のテストメールです。' and '(固定)' next to it. A 'テスト送信' button is located below the form.

To : テストメールを受信確認可能なメールアドレスを入力してください

複数の端末で確認したい場合は、メールアドレスの間を「,」(カンマ)で区切って入力してください。

例) to_1@testmail.com,to_2@testmail.com

「テスト送信」をクリックすると、実際にメールが送信され、結果が画面に表示されます。

テスト送信が成功した場合、以下のような表示になります。

メール送信完了しました。メール受信箱を確認してください。
暗号化方式 : TLS
ポート番号 : 465

テスト送信が失敗した場合、以下のような表示になります。

メール送信に失敗しました。SMTPサーバー設定またはネットワーク設定を見直してください。

失敗の原因として、可能性の高いものは、

- SMTP サーバー設定が正しくできていない
- ネットワーク設定が正しくできていない
- ネットワーク環境が正しく構築できていない

などです。設定やネットワーク環境をもう一度、ご確認ください。

4-4-4 入力0(1)設定

入力 ON メール、入力 OFF メールを送信する条件、および出力する条件を設定します。

入力は独立して機能しますので、「入力 0 設定」、「入力 1 設定」にてそれぞれ設定します。

HOME

SMTPサーバー設定

テストメール送信

入力0設定

入力1設定

出力設定

KeepAliveメール設定

有線ネットワーク設定

無線ネットワーク設定

無線LAN接続設定

システム設定

設定内容のインポート/エクスポート

設定反映

入力0設定

入力ON動作条件

入力が 秒間ONすると、登録した入力ONメールを送信します。
(0秒だと入力ONした瞬間に動作します)

さらに、 秒間出力をONします。
(0秒だと入力がOFFするまで出力ONし続けます)

入力OFF動作条件

入力が 秒間OFFすると、登録した入力OFFメールを送信します。
(0秒だと入力OFFした瞬間に動作します)

さらに、 秒間出力をONします。
(0秒だと出力しません)

検出禁止時間

入力OFF動作条件成立後 秒間は入力ON動作しません。

入力極性設定

Active Low Active High

Active Low: れんら君の入力電圧がLowレベルのとき入力ONとみなします
Active High: れんら君の入力電圧がHighレベルのとき入力ONとみなします

設定

[入力0メールの設定](#)

入力 ON 動作条件 : 入力が何秒間 ON したら、入力 ON メールを送信するか、
また出力を何秒 ON させるかを入力します(0~36000 秒)

入力 OFF 動作条件 : 入力が何秒 OFF したら入力 OFF メールを送信するか、
また出力を何秒 ON させるかを入力します(0~36000 秒)

検出禁止時間 : 入力 OFF 動作後、再び入力 ON 動作が可能になるまでの時間を
入力します

入力極性設定 : Active Low か、Active High を選択します

※ Active Low は、入力電圧が Low(6V 以下)の時 ON とみなし、
Active High は、入力電圧が High(18V 以上)の時 ON とみなします。

入力が完了したら、「設定」をクリックしてください。

画面下部の「入力 0(1)メールの設定」をクリックすると、送信するメールの宛先や、本文を設定する画面が開きます。

4-4-5 入力0(1)メール設定

送信するメールの宛先や、本文を設定します。

メールは「入力 ON メール」、「入力 OFF メール」それぞれ3通まで登録できます。

← → ↻ ▲ 保護されていない通信 | 192.168.251.1/email.html?input=0

NKE Humanized Automation

HOME
SMTPサーバー設定
テストメール送信
入力0設定
入力1設定
出力設定
KeepAliveメール設定
有線ネットワーク設定
無線ネットワーク設定
無線LAN接続設定
システム設定
設定内容のインポート/エクスポート
設定反映

入力0メール設定

入力0メール内容設定

作成するメールの種類： 入力ONメール ▼

作成するメールの番号： 1 ▼

To : to@example.com (255文字まで)

cc : (例)renrakun@example.com (255文字まで)

件名 : れんら君からのメールです (全角40文字まで)

本文 : 設定1で異常が発生します！ (全角78文字まで)

保存 削除

作成するメールの種類 : 入力 ON メールか、入力 OFF メールを選択します

作成するメール番号 : 1、2、3のいずれかを選択します

To : メール送信先 To アドレスを入力します(255 文字まで)

Cc : メールの送信先 Cc アドレスを入力します(255 文字まで)

※ To、Ccに複数の宛先を入力したい場合、メールアドレスの間を「,」(カンマ)で区切って入力してください。

件名 : メールの件名を入力します(40 文字まで)

本文 : メールの本文を入力します(78 文字まで)

入力が完了したら、「保存」をクリックしてください。

「作成するメールの種類」、「作成するメールの番号」を変更すると、そのメール内容を自動で読み込み、画面が更新されます。

「削除」をクリックすると選択されているメール種類、メール番号に登録されているメールの内容を削除します。

4-4-6 出力設定

出力の極性を設定します。

← → ↻ ▲ 保護されていない通信 | 192.168.251.1/output.html

NKE Humanized Automation

HOME

SMTPサーバー設定

テストメール送信

入力0設定

入力1設定

出力設定

KeepAliveメール設定

有線ネットワーク設定

無線ネットワーク設定

無線LAN接続設定

システム設定

設定内容のインポート/エクスポート

設定反映

出力設定

れんら君の出力動作の極性を設定します。

出力0極性設定

Normal Open Normal Close

Normal Open: 出力ON時、出力接点はクローズになります
Normal Close: 出力ON時、出力接点はオープンになります

設定

出力極性設定 : Normal Open か、Normal Close を選択します

- ※ Normal Open は出力 ON 時「OT+」と「OT-」間が導通し、
Normal Close は出力 OFF 時「OT+」と「OT-」間が導通します。

出力条件については「入力 0(1)設定」で行います。

入力が完了したら、「設定」をクリックしてください。

4 - 4 - 7 KeepAlive メール設定

Keep Alive メール機能の設定を行います。

Keep Alive メール機能とは、本体の動作や通信状態が正常であることを確認するために、

設定した日にちが経過するごとに 指定の宛先へメールを送信する機能です。

The screenshot shows a web browser window with the URL 192.168.251.1/keepalive.html. The page title is 'KeepAliveメール設定' (KeepAlive Email Settings). On the left is a navigation menu with items like HOME, SMTPサーバー設定, テストメール送信, 入力0設定, 入力1設定, 出力設定, KeepAliveメール設定 (highlighted in red), 有線ネットワーク設定, 無線ネットワーク設定, 無線LAN接続設定, システム設定, 設定内容のインポート/エクスポート, and 設定反映. The main content area is divided into two sections: 'KeepAliveメール条件設定' (KeepAlive Email Condition Settings) and 'KeepAliveメール内容設定' (KeepAlive Email Content Settings). The condition settings section contains text explaining the function and a text input field for the number of days after power-on (set to 3). The content settings section includes input fields for 'To' (account@example.com), 'cc' ([例]renrakun@example.com), and '件名' (れんら君KeepAliveメールです), along with a large text area for the body content. A '設定' (Settings) button is located at the bottom.

KeepAlive メール条件設定 : 電源起動から何日経過でメール送信するかを入力します

KeepAlive メール To : メール送信先 To アドレスを入力します(255 文字まで)

KeepAlive メール Cc : メール送信先 Cc アドレスを入力します(255 文字まで)

入力が完了したら、「設定」をクリックしてください。

4-4-8 有線ネットワーク設定

有線 LAN 動作時の IP アドレスなどのネットワークに関する設定を行います。

The screenshot shows the '有線ネットワーク設定' (Wired Network Settings) page. On the left is a navigation menu with '有線ネットワーク設定' highlighted. The main content area includes a MAC address field (00:0c:9f:00:00:0f), radio buttons for DHCP (DHCPを使用する(IPアドレスを自動取得する) and 次 IP アドレスを使用する), and input fields for IP address (192.168.251.1), subnet mask (255.255.255.0), and default gateway (192.168.251.1). Below these are radio buttons for DNS (DHCPを使用する(DNSサーバアドレスを自動取得する) and 次 DNS サーバアドレスを使用する), and input fields for priority and replacement DNS servers (both 192.168.251.1). A '設定' (Settings) button is at the bottom.

MAC アドレス : 有線 LAN 動作時の MAC アドレスです(変更はできません)

DHCP 設定(IP) : IP アドレスを DHCP サーバーから自動で取得するか、
手動で設定するかをチェックボックスで選択します

IP アドレス : IP アドレスを入力します

サブネットマスク : サブネットマスクを入力します

デフォルトゲートウェイ : ゲートウェイの IP アドレスを入力します

DHCP 設定(DNS) : DNS サーバーの IP アドレスを DHCP サーバーから自動で取得
するか、手動で設定するかをチェックボックスで選択します

優先 DNS サーバー : DNS サーバーの IP アドレスを入力します

代替 DNS サーバー : 優先 DNS を補完する DNS サーバーの IP アドレスを入力します

入力が完了したら、「設定」をクリックしてください。

4-4-9 無線ネットワーク設定

無線 LAN 動作時の IP アドレスなどのネットワークに関する設定を行います。

The screenshot shows the '無線ネットワーク設定' (Wireless Network Settings) page. On the left is a navigation menu with items like HOME, SMTPサーバー設定, テストメール送信, 入力0設定, 入力1設定, 出力設定, KeepAliveメール設定, 有線ネットワーク設定, 無線ネットワーク設定 (highlighted), 無線LAN接続設定, システム設定, 設定内容のインポート/エクスポート, and 設定反映. The main content area has a title '無線ネットワーク設定' and a 'MACアドレス(無線LAN)' field with the value '00:0c:9f:00:00:10'. There are two radio button options: 'DHCPを使用する(IPアドレスを自動取得する)' (selected) and '次のIPアドレスを使用する'. The latter is expanded to show fields for 'IPアドレス' (192.168.251.1), 'サブネットマスク' (255.255.255.0), and 'デフォルトゲートウェイ' (192.168.251.1). Below that, there are two more radio button options: 'DHCPを使用する(DNSサーバーアドレスを自動取得する)' (selected) and '次のDNSサーバーアドレスを使用する'. The latter is expanded to show '優先DNSサーバー' (192.168.251.1) and '代替DNSサーバー' (192.168.251.1). A '設定' (Settings) button is at the bottom.

MAC アドレス : 無線 LAN 動作時の MAC アドレスです(変更はできません)

DHCP 設定(IP) : IP アドレスを DHCP サーバーから自動で取得するか、
手動で設定するかをチェックボックスで選択します

IP アドレス : IP アドレスを入力します

サブネットマスク : サブネットマスクを入力します

デフォルトゲートウェイ : ゲートウェイの IP アドレスを入力します

DHCP 設定(DNS) : DNS サーバーの IP アドレスを DHCP サーバーから自動で取得
するか、手動で設定するかをチェックボックスで選択します

優先 DNS サーバー : DNS サーバーの IP アドレスを入力します

代替 DNS サーバー : 優先 DNS を補完する DNS サーバーの IP アドレスを入力します

入力が完了したら、「設定」をクリックしてください。

4-4-10 無線 LAN 接続設定

無線 LAN 動作時の親機、子機の設定と、接続するアクセスポイント情報の設定を行います。

SSID	セキュリティ
Buffalo-G-2368	WPA2
aterm-f07ca5	WPA2

無線 LAN 起動設定 : 子機 or 親機 をチェックボックスで選択します

SSID : 接続したいアクセスポイントの SSID を入力します(32 文字まで)

パスワード : 接続したいアクセスポイントのパスワードを設定します(64 文字まで)

パスワード入力形式 : パスワードを HEX で入力する場合、チェックボックスをチェックします
(通常は ASCII です)

セキュリティ : セキュリティプロトコルを選択します(なし、WEP、WPA、WPA2)

スキャン : クリックすると、利用可能なアクセスポイントの SSID とセキュリティが一覧表示され、表示された欄をクリックすると入力できます

※ スキャンで表示されるのは、れんら君の電源投入時に起動していたアクセスポイントになります。後から起動したアクセスポイントについては表示されないのをご注意ください。

入力が完了したら、「設定」をクリックしてください。

4-4-11 システム設定

れんら君サーチで表示されるユニットの名称や、設定画面にアクセスする際に必要なパスワードの設定を行います。

← → ↻ ▲ 保護されていない通信 | 192.168.251.1/system.html

NKE Humanized Automation

HOME

SMTPサーバー設定

テストメール送信

入力0設定

入力1設定

出力設定

KeepAliveメール設定

有線ネットワーク設定

無線ネットワーク設定

無線LAN接続設定

システム設定

設定内容のインポート/エクスポート

設定反映

システム設定

ユニット名

れんら君サーチで表示される名前です。

(半角英数字, 「-」, 「_」のみ、最大16文字)

ログインパスワード

設定画面にアクセスしたときの認証用パスワードです(デフォルトは「root」です)

(半角英数字, 「-」, 「_」のみ、最大32文字)

設定

ユニット名 : ユニット名を入力します(16 文字まで)

※ ユニット名は、れんら君サーチでの表示、Keepalive メール本文に使用されます。

ログインパスワード : 設定画面へアクセスする際の、ログインパスワードを入力します(32 文字まで)

入力が完了したら、「設定」をクリックしてください。

4-4-1-2 設定内容のインポート/エクスポート

れんら君に設定した内容のコピーやバックアップが可能です。

※ この機能は、インポート先とエクスポート先のれんら君の型式とファームウェアバージョンが一致していないと使用できませんのでご注意ください。

HOME

SMTPサーバー設定

テストメール送信

入力0設定

入力1設定

出力設定

KeepAliveメール設定

有線ネットワーク設定

無線ネットワーク設定

無線LAN接続設定

システム設定

設定内容のインポート/エクスポート

設定反映

設定内容のインポート/エクスポート

インポート

れんら君へ書き込みたい設定ファイル「.ren2」を選択し、インポートしてください。
※※※ 注意 ※※※
れんら君からエクスポートした「.ren2」ファイル以外はインポートしないでください。

ファイルを選択 選択されていません

インポート

エクスポート

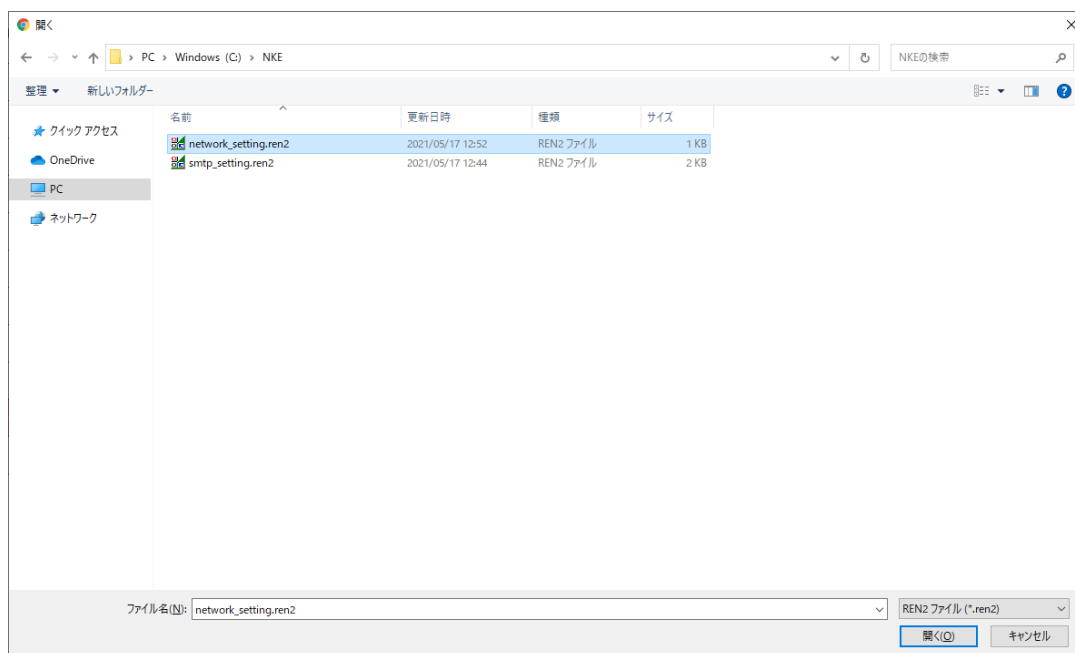
現在のれんら君から読み出したい設定ファイルを選択し、エクスポートしてください。

読み出す内容: SMTPサーバー設定

エクスポート

インポート : れんら君からエクスポートした設定ファイルの内容をインポートします

「ファイルを選択」をクリックすると、ファイルダイアログが開くので、れんら君からエクスポートした「.ren2」ファイルを選択します。



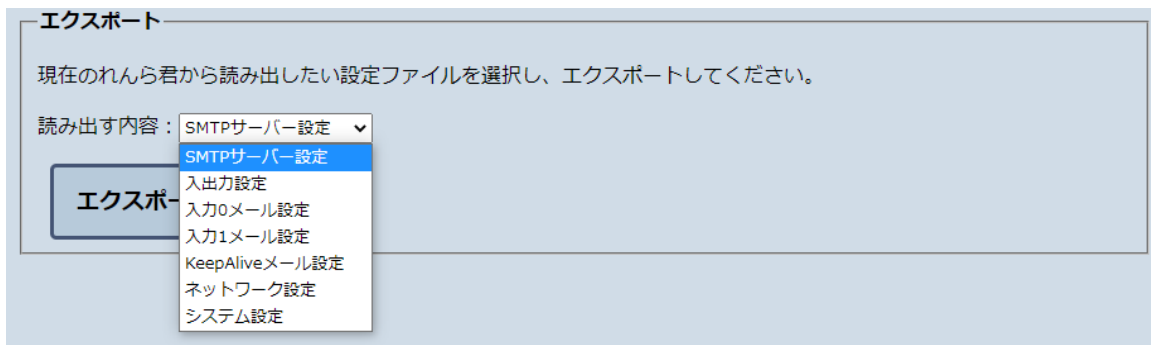
ファイルを選択 network_setting.ren2

選択しますと、「ファイルを選択」の右にインポートするファイル名が表示されますので、その状態で、「インポート」をクリックすると、れんら君に選択したファイルの設定内容が反映されます。

エクスポート : れんら君に設定されている内容をファイルとしてエクスポートします。

「読み出す内容」から、読み出したい設定内容を選択します。

※ 一部の設定は読み出せません。



「エクスポート」をクリックすると、ブラウザのダウンロードダイアログが開き、設定ファイルがダウンロードされます。

4-4-13 設定反映

れんら君では、各設定画面で入力、保存したすべての設定内容は再起動を行わないと反映されません。

※ 「メールテスト送信」のみ、再起動なしで入力された SMTP 設定情報を使用して動作します。



「再起動」をクリックすると、れんら君が再起動します。

再起動すると、PWR LED が赤点灯になり、その後正常起動すれば緑点灯状態となります。

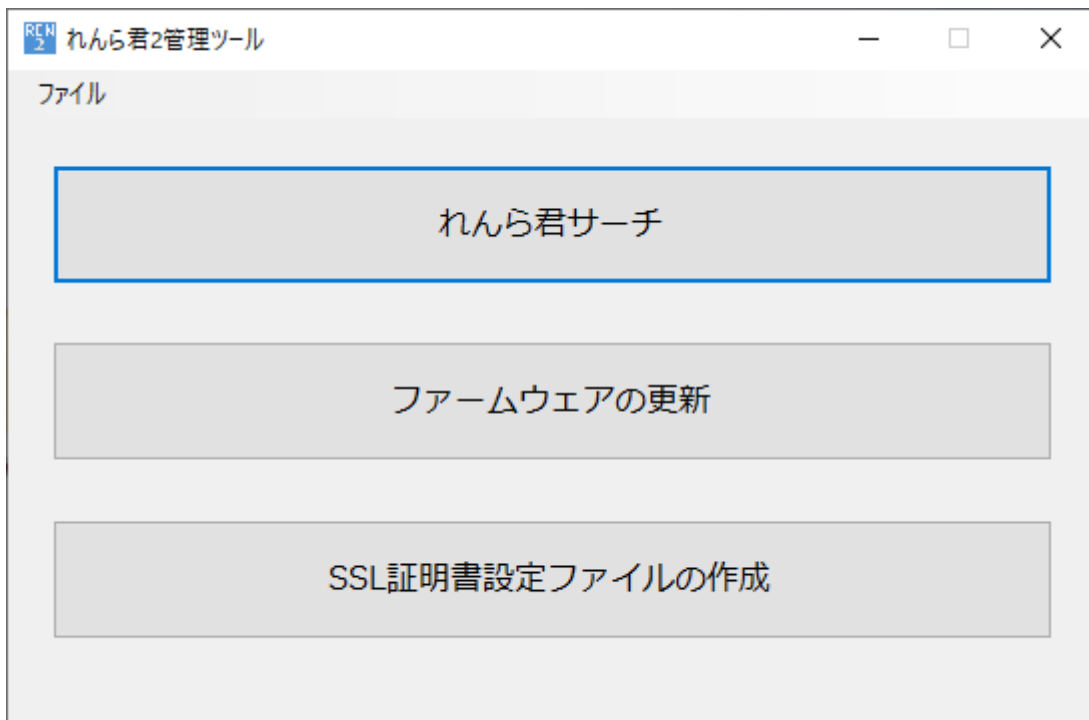
この際、ブラウザ上でのれんら君設定画面との接続が途切れますので、れんら君正常起動後に再びブラウザ画面を更新しアクセスし直してください。

5 れんら君2 管理ツールの詳細機能

れんら君2 管理ツールには3つの機能があります。

それぞれの説明をよく読み、ご使用ください。

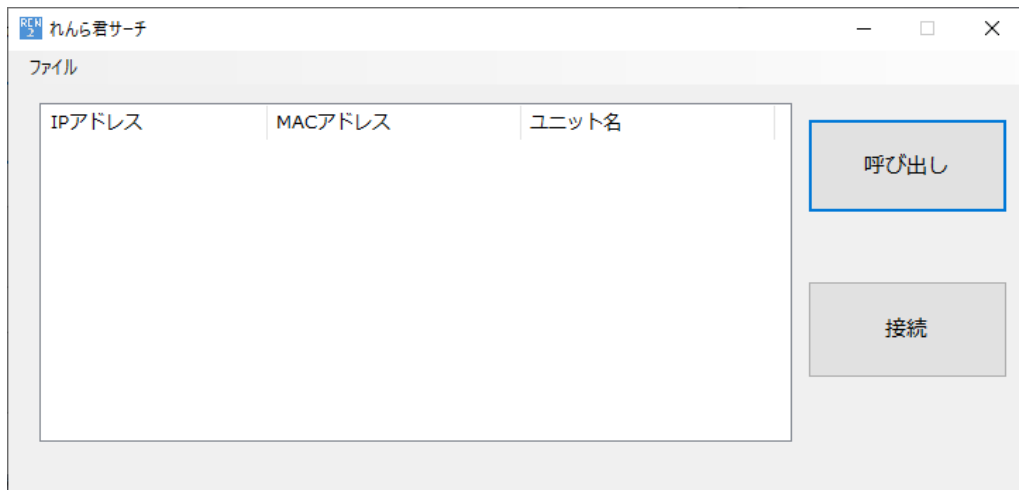
インストール方法については、「4-1 設定ソフトのインストール」を参照ください。



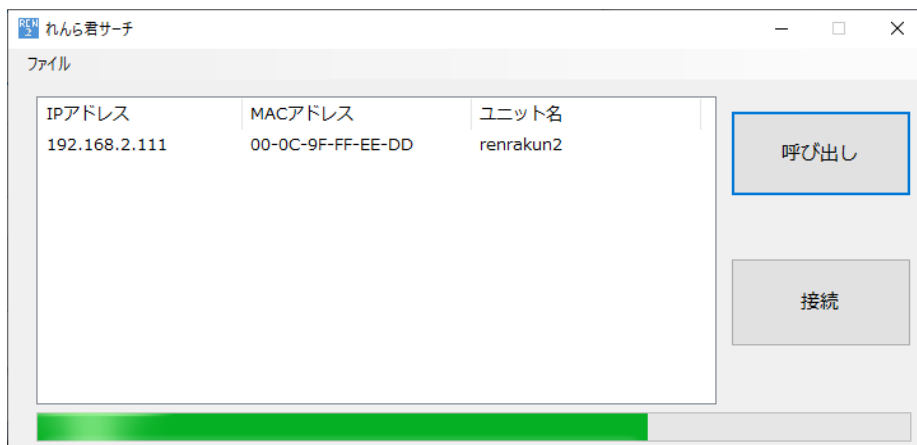
5 - 1 れんら君サーチ

れんら君サーチは、ネットワークに接続されたれんら君を探索し、IP アドレスを取得するソフトになります。

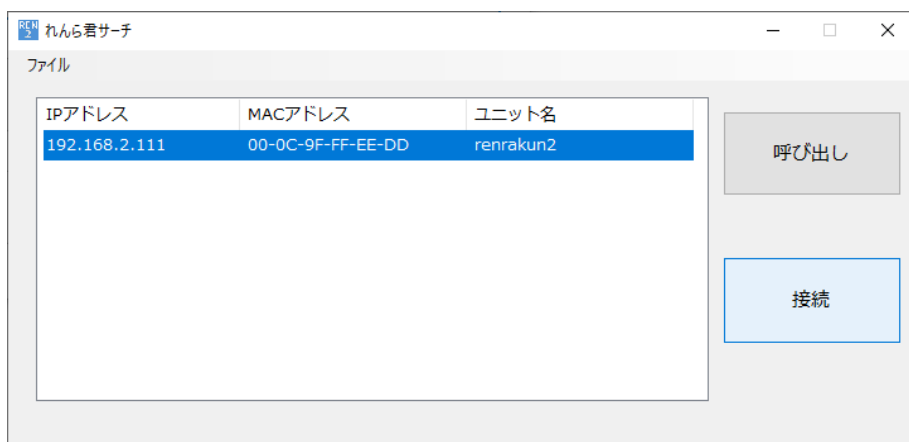
トップ画面から「れんら君サーチ」をクリックすると、以下の画面が開きます。



「呼び出し」をクリックすると、れんら君探索を開始します。



進捗バーが進み、中央のリストに探索で見つかったれんら君が表示されます。



接続したいれんら君をクリックして選択し、「接続」をクリックします。



既定のブラウザが起動し、設定画面が起動します。

設定項目の詳細に関しては、「4 - 4 設定を行う」を参照ください。

5 - 2 ファームウェアの更新

れんら君はリリース後の機能の向上や不具合の修正などのためにファームウェアを更新する機能を備えています。

ファームウェアの更新は、本ソフトウェアを用いて手動で行います。

※ ファームウェアの更新作業は、誤った操作を行うと、故障の原因になりますので、手順を良く理解した上で行ってください。また、必要のない場合はこの操作は行わないようにしてください。

5 - 2 - 1 ファームウェアファイルを手入手する

れんら君のファームウェアファイルを NKE ホームページよりダウンロードします。



5-2-2 れんら君をファームウェア更新モードにする

れんら君の設定画面の URL 入力欄に

http://[IP アドレス]/rrk_firm_update.html ([IP アドレス]はれんら君の IP アドレス)

と打ち込んで、ファームウェア更新モード移行画面へアクセスします。

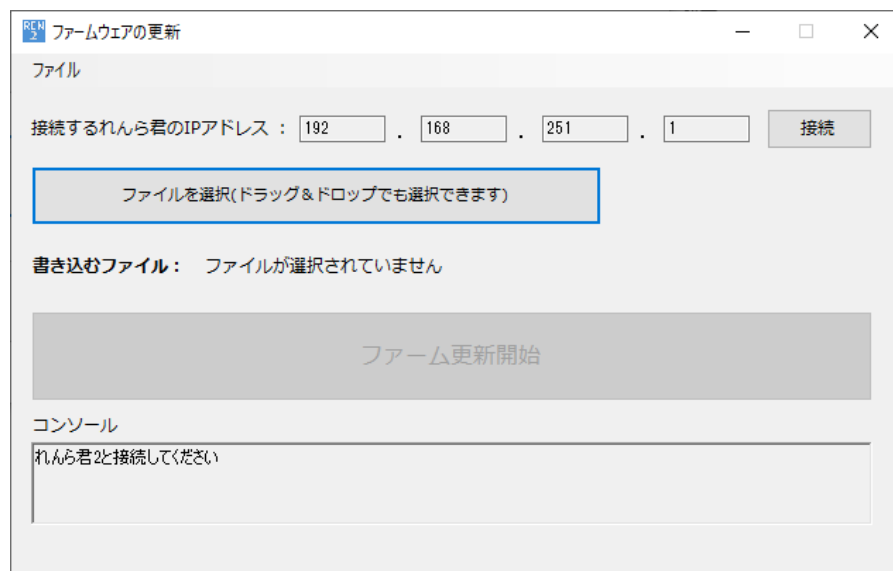


「アップデート」をクリックし、れんら君をファームウェア更新モードにします。

ファームウェア更新モードになると、れんら君本体の PWR_LED が緑点滅状態になります。

5-2-3 ファームウェアを更新する

トップ画面から「ファームウェアの更新」をクリックすると、以下の画面が開きます。



「接続」をクリックし、ファームウェア更新状態のれんら君と接続します。

※ 接続できない場合は、パソコンの IP アドレスの設定をご確認ください。

ファームウェア更新モードのれんら君の IP アドレスは「192.168.251.1/24」になります。

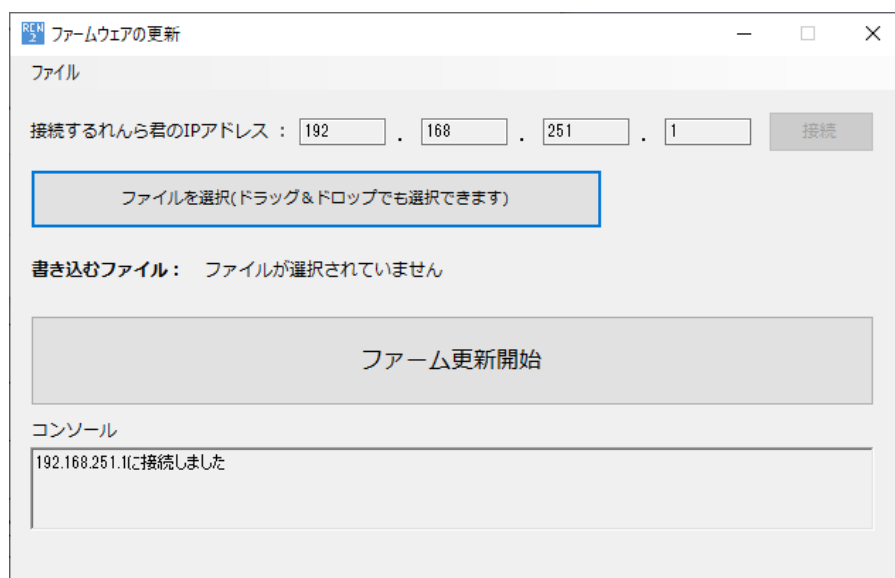
通常、機器同士がネットワーク通信を行うためには、IP アドレスのセグメントが一致している必要があります。

パソコンの IP アドレス設定を、

IP アドレス : 192.168.251.x (x は 2～254 の数字)

サブネットマスク : 255.255.255.0

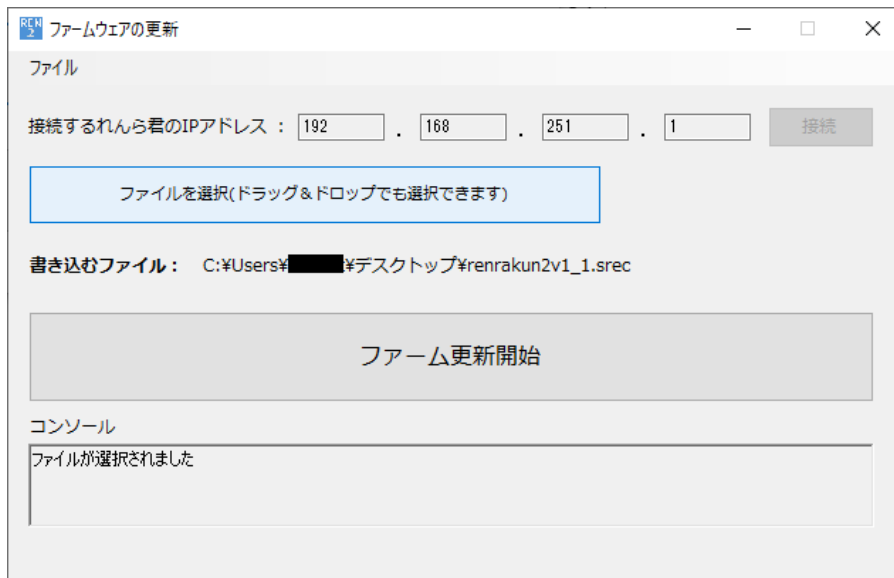
に変更後、再度お試しください。



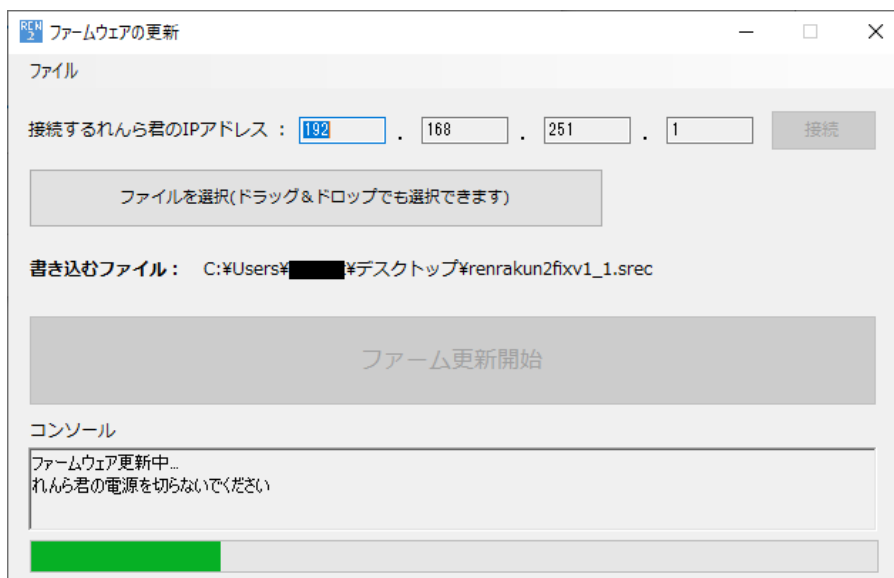
「ファイルを選択」をクリック、またはファイルをボタン上へドラッグ & ドロップし、

先ほどダウンロードしたれんら君ファームウェアファイルを選択します。

すると、「書き込むファイル」の欄にファイルのディレクトリが表示されますのでご確認ください。

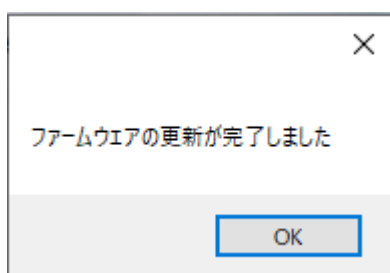


「ファームウェア更新開始」をクリックします。



進捗バーが進み、ファームウェア更新が開始されます。

更新中は、れんら君の電源や LAN ケーブルを抜かないようにご注意ください。



進捗バーが最後まで進み、更新が完了すれば、上記のような表示が出ます。

その後、れんら君は自動的に再起動し、新しいファームウェアで動作を開始します。

ファームウェアの更新作業でエラーが起こると、れんら君本体の PWR LED が赤点滅状態になります。れんら君の電源を再起動して、もう一度最初からお試してください。

5 – 3 SSL 証明書設定ファイルの作成

れんら君のメール送信/受信機能で暗号化(SSL/TLS)通信を利用するためには、ルート証明書や中間証明書(以下、証明書)が必要になります。

れんら君には、デフォルトでいくつかの証明書がインストールされていますが、使用されるメールサーバーによっては、デフォルトの証明書では暗号化通信を利用できないことがあります。

その場合、本ソフトウェアを用いて、使用されるサーバーの証明書をインストールすることができます。

証明書のインストールには、下記のような

----BEGIN CERTIFICATE----から始まり、----END CERTIFICATE----で終わるテキストを用意してください。

下記の例は、「Security_Communication_RootCA2」証明書の中身です。

(Yahoo メールサーバーとの暗号化通信に利用されます)

```
-----BEGIN CERTIFICATE-----
MIIDdzCCAI+gAwIBAgIBADANBgkqhkiG9w0BAQsFADBdMQswCQYDVQQGEwJKUDEI
MCMGA1UEChMcU0VDT00gVHJ1c3QgU3lzdGVtcyBDTy4sTFRELjEnMCUGA1UECxMe
U2VjdXJpdHkgQ29tbXVuaWNhdGlvbiBSb290Q0EyMB4XDTA5MDUyOTA1MDAzOVow
DTI5MDUyOTA1MDAzOVowXTElMAkGA1UEBhMCSlAxJTAjBgNVBAoThFNFNQ09NIFRy
dXN0IFN5c3RlbXMgQ08uLExURC4xJzAlBgNVBAsTHINiY3VyaXR5IENvbnV1bWlj
YXRpb24gUm9vdENBMjCCASiWdQYJKoZIhvcNAQEBBQADggEPADCCAQoCggEBANAV
OVKxUrO6xVmCxF1SrjpdZYBLx/KWvNs2l9amZIyoXvDjChz335c9S672XewhtUGr
zbl+dp+++T42NKA7wfYxEUV0kz1XgMX5iZnK5atq1LXaQZAQwdbWQonCv/Q4EpVM
VAX3NuRfG3sUJZdbcDE3R3n4MqzvEFb46VqZab3ZpUql6ucjrappdUtAtCms1FgkQ
hNBqyjoGADdH5H5XTz+L62e4iKrFvINVspHEfbmwhRkGeC7bYRr6hfVKkaHnFtWO
ojnflLhwHyg/i/xAXmODPIMqGplr395Zajv8bxbXH/1KEOtOghY6rCcMU/Gt1SSw
awNQwS08Ft1ENCcadfsCAwEAAaNCMEAwHQYDVR0OBBYEFaFqXdlBZ8QIH4D5cs
OPEK7DzPMA4GA1UdDwEB/wQEAwIBBjAPBgNVHRMBAf8EBTADAQH/MA0GCSqGSIb3
DQEBCwUAA4IBAQBMOqNErLIFsceTfsgLcKLFzOoc7llsCLqJX2rKSpWeeo8HxdpF
coJxDjrSzG+ntKEju/Ykn8sX/oymzsLS28yN/HH8AynBbF0zX2S2ZTuJbxh2ePxc
okgfGT+Ok+vx+hfuzU7jBBJV1uXk3fs+BXziHV7Gp7yXT2g69ekuCkO2r1dcYmh8
t/2jioSgrGK+KwmHNPBqAbubKVY8/gA3zyNs8U6qtnRGEMyR7jTV7JqR50S+kDFy
1UkC9gLl9B/rfNmWVan/7Ir5mUf/NVoCqgTLiluHcSmRvaS0eg29mvVXIwAHIRc/
SjnRBUkLp7Y3gaVdjKozXoEofKd9J+sAro03
-----END CERTIFICATE-----
```

5 - 3 - 1 証明書ファイルを作成する

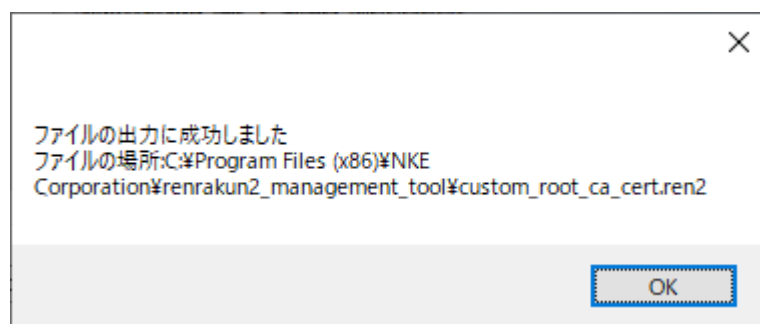
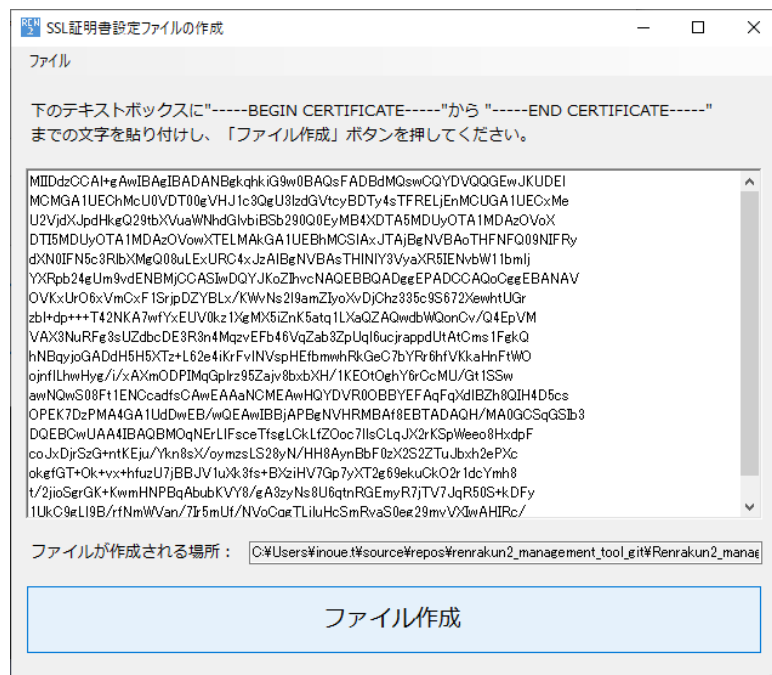
トップ画面から「SSL 証明書設定ファイルの作成」をクリックすると、以下の画面が開きます。



インストールする証明書ファイルの、

----BEGIN CERTIFICATE----から後と、----END CERTIFICATE----の前までのテキストを

テキスト入力に貼り付け、「ファイル作成」をクリックします。



上記の表示が出れば、証明書ファイルの作成は完了です。

設定ファイルは、本ソフトウェアのインストール先フォルダに出力されます。

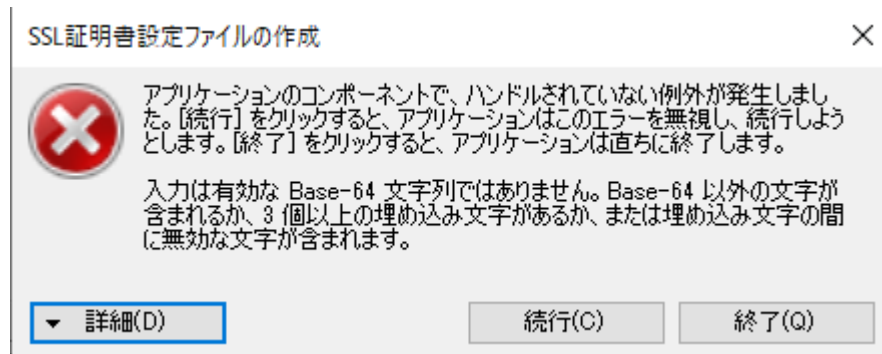
管理者権限がない場合は、「ファイルの出力に成功しました」と表示されてもファイルが出力されま

せん。デスクトップなどに出力先を変更してください。

もしも、下記のようなメッセージが表示された場合は、テキスト入力欄に貼り付けた文字列内に「----BEGIN CERTIFICATE----」または「----END CERTIFICATE----」が含まれていることが原因です。

その場合は、「続行」または「×」をクリックして、前記の文字列をテキスト入力欄から削除してから「ファイル作成」をクリックしてください。

「終了」をクリックした場合は、トップ画面の「SSL 証明書設定ファイルの作成」をクリックして作成画面を出し、前記の文字列をテキスト入力欄から削除してから「ファイル作成」をクリックしてください。



5 - 3 - 2 証明書ファイルをれんら君にインストールする

続いて、れんら君の設定画面にアクセスし、左のメニューから「設定内容のインポート/エクスポート」をクリックします。

The screenshot shows the '設定内容のインポート/エクスポート' (Import/Export Settings) page. On the left is a navigation menu with items like HOME, SMTPサーバー設定, テストメール送信, etc. The main area is divided into two sections: 'インポート' (Import) and 'エクスポート' (Export). The 'インポート' section contains instructions to select a '.ren2' file and an 'インポート' button. The 'エクスポート' section contains instructions to select a file to export, a dropdown menu for '読み出す内容' (Load content) set to 'SMTPサーバー設定', and an 'エクスポート' button.

インポート欄の、「ファイルを選択」をクリックし、先ほど出力した設定ファイルを選択します。

ファイル名が表示されたら、「インポート」をクリックします。

設定を保存しました。
設定を実機に反映させるためには、**再起動**をしてください。

上記の表示が出れば、証明書ファイルのインポートは成功です。

れんら君の電源を再起動してから、暗号化通信をお試ください。

5-3-3 証明書ファイルを取得する(参考)

証明書ファイルのテキスト取得が容易ではない場合、OpenSSL コマンドラインツール

(<https://www.openssl.org/>)を用いると便利です。

5-3-3-1 OpenSSL のインストール

下記サイトなどから Win32/Win64 OpenSSL v1.* Light をダウンロードし、インストール
します。

<https://slproweb.com/products/Win32OpenSSL.html>

インストールが完了したら、コマンドプロンプトから作業を行うために、PATH を通します。

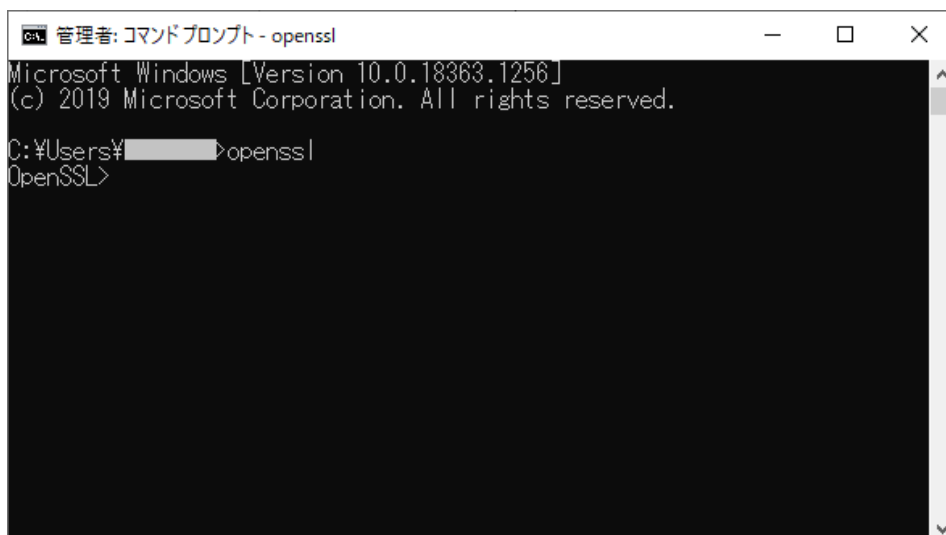
Windows10 の場合は以下の手順で PATH を通すことができます。

[コントロールパネル]→[システム]→[システムの詳細設定]→[環境変数]→

システム環境変数の Path を選択→[編集]

OpenSSL をインストールしたフォルダ(例:C:\Program Files\OpenSSL-Win64\bin)
を追加。

次に、コマンドプロンプトを起動し、「openssl」と入力し、実行できれば使用準備は完了です。



```
管理者: コマンドプロンプト - openssl
Microsoft Windows [Version 10.0.18363.1256]
(c) 2019 Microsoft Corporation. All rights reserved.
C:\Users\%>openssl
OpenSSL>
```


5-3-3-2 証明書を変換する

証明書ファイルでよく使われる、*.cer 形式のファイルは中身がバイナリ形式の場合、以下の OpenSSL コマンドを用いて、簡単にテキストに変換することができます。

```
X509 -inform der -in [*.cer] -out [*.pem]
```

下記の例は、Cドライブ直下の「input.cer」ファイルを変換し、「output.pem」ファイルに変換しています。

```
OpenSSL> x509 -inform der -in C:\input.cer -out C:\output.pem
OpenSSL>
```

5-3-3-3 サーバーから取得する

どの証明書を利用すればいいのか、不明な場合は、

以下の OpenSSL コマンドを用いて、WindowsPC から接続サーバーにアクセスすることで利用する証明書を取得できることもあります。

STARTTLS の場合と、SSL/TLS の場合でコマンドが違うので注意が必要です。

ポート番号 465、SMTPS で、Yahoo メールサーバーへ接続する場合

```
s_client -connect smtp.mail.yahoo.co.jp:465 -showcerts
```

ポート番号 587 STARTTLS で、Gmail のサーバーへ接続する場合

```
s_client -connect smtp.gmail.com:587 -starttls smtp -showcerts
```

接続が成功すれば、結果が以下のように表示されます。

以下の例は、Yahoo メールサーバーへの接続結果です。

```
CONNECTED(000001C4)
depth=2 C = JP, O = "SECOM Trust Systems CO.,LTD.", OU = Security Communication RootCA2
verify error:num=20:unable to get local issuer certificate
verify return:1
depth=1 C = JP, O = "Cybertrust Japan Co., Ltd.", CN = Cybertrust Japan SureServer CA G4
verify return:1
depth=0 C = JP, ST = Tokyo, L = Chiyoda-ku, O = Yahoo Japan Corporation, CN = smtp.mail.yahoo.co.jp
verify return:1
---
Certificate chain
0 s:C = JP, ST = Tokyo, L = Chiyoda-ku, O = Yahoo Japan Corporation, CN = smtp.mail.yahoo.co.jp
  i:C = JP, O = "Cybertrust Japan Co., Ltd.", CN = Cybertrust Japan SureServer CA G4
-----BEGIN CERTIFICATE-----
MIIHPDCCBiSgAwIBAgIUdmpGWwPwNF3rEXxAmu9SbrKJwxIwDQYJKoZIhvcNAQEL
BQAwwXjELMAKGA1UEBhMCSIAxIzAhBgNVBAoTGkN5YmVydHJ1c3QgSmFwYW4gQ28u
  ~(中略)~
v69vdlqZktPjIPQSerjqelVLiJ/mRk3epDyv0RbVAKHFH0HDD90LaHxC4jCjytTM
ezl9bmFyeUT88RhxB4IVbbFVXYv7HQU7rqjZMfz8HJc=
-----END CERTIFICATE-----
1 s:C = JP, O = "Cybertrust Japan Co., Ltd.", CN = Cybertrust Japan SureServer CA G4
  i:C = JP, O = "SECOM Trust Systems CO.,LTD.", OU = Security Communication RootCA2
-----BEGIN CERTIFICATE-----
MIIE7jCCA9agAwIBAgIJIRmxYwzstDwuMA0GCSqGSIb3DQEBCwUAMF0xCzAJBgNV
BAYTAKpQMSUwIwYDVQQKEExTRUNPTSBUcnVzdCBTeXN0ZW1zIENPLixMVEQuMScw
  ~(中略)~
7pH56AlvO7hzGzng60kyWnAz6O5rQ0tsFIgW9xloWTQQVcfEtvjzc8ptuP9onkbA
jMRDJaqLXrIVtB7GMek7S6AO
-----END CERTIFICATE-----
2 s:C = JP, O = "SECOM Trust Systems CO.,LTD.", OU = Security Communication RootCA2
  i:C = JP, O = SECOM Trust.net, OU = Security Communication RootCA1
-----BEGIN CERTIFICATE-----
MIIEcjCCA1qgAwIBAgIJERmw+nLg2EjGMA0GCSqGSIb3DQEBCwUAMFAxCzAJBgNV
BAYTAKpQMRgwFgYDVQQKEw9TRUNPTSBUcnVzdC5uZXQxJzAlBgNVBAAsTHINIY3Vy
  ~(中略)~
u5ZuCjxerxj3qS1rM46bcEfjopnaD7hnJXSYiL1d0yw5zSW2PEe+LHdoIAb2I6D8
8UFJH0Cli6sY5I8jhjKOos1yeu1C/RcY0+NBHKZkFEeEb6ez0sg=
-----END CERTIFICATE-----
---
Server certificate
subject=C = JP, ST = Tokyo, L = Chiyoda-ku, O = Yahoo Japan Corporation, CN = smtp.mail.yahoo.co.jp
issuer=C = JP, O = "Cybertrust Japan Co., Ltd.", CN = Cybertrust Japan SureServer CA G4
---
No client certificate CA names sent
Peer signing digest: SHA256
Peer signature type: RSA-PSS
Server Temp Key: X25519, 253 bits
---
(以下略)
```

結果の中に、----BEGIN CERTIFICATE---- から ----END CERTIFICATE---- で
終わる文字列がいくつかあることがわかります。

下の例に見るべき箇所を抜き出してみました。

```
2 s:C = JP, O = "SECOM Trust Systems CO.,LTD.", OU = Security Communication RootCA2
  i:C = JP, O = SECOM Trust.net, OU = Security Communication RootCA1
----BEGIN CERTIFICATE----
MIIEcjCCA1qgAwIBAgIJErnw+nLg2EjGMA0GCSqGSIb3DQEBCwUAMFAxCzAJBgNV
BAYTAkpQMRgwFgYDVQQKEw9TRUNPTSBUcnVzdC5uZXQxJzAlBgNVBA5THINIY3Vy
  ~(中略)~
u5ZuCjxerxj3qS1rM46bcEjopnaD7hnJXSYiL1d0yw5zSW2PEe+LHdoIAb2I6D8
8UFJH0Cli6sY5I8jhjkOos1yeu1C/RcY0+NBHKZkFEeEb6ez0sg=
----END CERTIFICATE----
```

2 :depth(証明書チェーンの深さ)、i :issuer (発行者)、s :subject (証明対象)

を表しています。

基本的には、depth が最も高いもの(例の場合、depth=2)の、

----BEGIN CERTIFICATE---- から ----END CERTIFICATE----の文字列を取得
して証明書ファイルを作成しておけば大丈夫です。

ただし、本ソフトで必要なのは

----BEGIN CERTIFICATE---- の後から ----END CERTIFICATE---- の前までの
文字列です。

5-3-3-4 証明書の内容を確認する

証明書には、有効期限があります。

以下の OpenSSL コマンドを用いて、確認することができます。

```
x509 -text -noout -in [*.pem]
```

下記の例は、「Security_Communication_RootCA2」証明書の中身です。

```
Certificate:
  Data:
    Version: 3 (0x2)
    Serial Number: 0 (0x0)
    Signature Algorithm: sha256WithRSAEncryption
    Issuer: C = JP, O = "SECOM Trust Systems CO.,LTD.",
           OU = Security Communication RootCA2
    Validity
      Not Before: May 29 05:00:39 2009 GMT
      Not After : May 29 05:00:39 2029 GMT
      (以下略)
```

Validity が有効期限で、Not Before から Not After までの間、有効になります。

例では、2009年5月29日～2029年5月29日まで有効ということになります。

有効期限の切れた証明書では TLS 通信に失敗しますのでご注意ください。

6 メンテナンス

6-1 設定の初期化方法

初期化するためには、先の細いペンや竹串をご用意ください。

本体後面の設定スイッチを PWR LED(赤)、PWR LED(緑)、STAT LED のすべての LED が点灯するまで(4秒以上)長押しします。

すると、すべての設定が初期化され工場出荷値になり、れんら君が再起動されます。

工場出荷値の設定内容は以下の表のようになっています。

設定パラメータ	工場出荷値
有線/無線ネットワーク設定	
IP アドレス	192.168.251.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.251.1
IP アドレス DHCP or 固定	DHCP
DNS サーバーアドレス(優先、代替)	192.168.251.1
DNS サーバーアドレス DHCP or 固定	DHCP
SMTP サーバー設定	
SMTP メールアドレス	(空白)
SMTP アカウント名	(空白)
SMTP パスワード	(空白)
SMTP サーバー名	(空白)
SMTP ポート番号、暗号化 自動 or 手動	自動
SMTP ポート番号	587
SMTP 暗号化方式	STARTTLS
入力*設定(*:入力番号 0 or 1)	
入力* ON 時間	0 [秒]
入力* OFF 時間	0 [秒]
入力* ON 出力時間	1 [秒]
入力* OFF 出力時間	0 [秒]
入力* 検出禁止時間	1 [秒]
入力* 極性	Active Low
出力*設定(*:出力番号 0)	
出力* 極性	Normal Open
入力*メール設定(*:入力番号 0 or 1)	
入力* (ON/OFF)メール To	(空白)
入力* (ON/OFF)メール Cc	(空白)
入力* (ON/OFF)メール 件名	(空白)

入力* (ON/OFF)メール 本文	(空白)
Keep Alive メール設定	
KeepAlive メール送信条件	0 [日]
KeepAlive メール To	(空白)
KeepAlive メール Cc	(空白)
無線 LAN 接続設定	
無線 LAN 起動設定(親機 or 子機)	親機
SSID	(空白)
パスワード	(空白)
パスワード入力方式(ASCII or HEX)	ASCII
セキュリティ	WPA2
システム設定	
ユニット名	(空白)
設定画面ログインパスワード	root

6-2 れんら君 LED の点灯パターン

れんら君の本体 LED 表示は、れんら君の状態によって異なります。

以下の表のようになっています。

れんら君の状態	LED 表示		
	PWR(緑)	PWR(赤)	STAT
電源 OFF	×	×	×
(再)起動中	×	○	×
正常状態	○	×	○
無線 LAN 親機状態	○	×	×
無線 LAN 接続動作中	□	×	○
無線 LAN 接続エラー	×	□	○
メール送信中	△	×	○
メール送信エラー	×	△	○
ネットワークエラー、IP 重複エラー	×	○	○
フラッシュメモリエラー	○	○	×
設定初期化中	○	○	○
例外、その他のエラー	×	×	×
ファームウェア更新待機モード	▲	×	×
ファームウェア更新中	△	×	×
ファームウェア更新エラー	×	△	×

○ : 点灯 × : 消灯
□ : 二回点滅 △ : 点滅(速) ▲ : 点滅(遅)

6-3 強制親機起動

本体後面の設定スイッチを押しながら電源を投入すると、動作モード切り替えスイッチの設定や、内部設定の「無線 LAN 接続設定」に関係なく、無線 LAN 親機(アクセスポイント)として起動します。

れんら君がネットワークに接続できない場合などに、設定を確認するのに便利です。

6-4 メールの再送信について

れんら君はメール送信エラーになった際、送信しようとしたメールは内部に保持し、5分毎に送信エラーとなったメールの再送信を試みています。メール送信エラー状態になっていても、新たなメール送信条件を満たせば、メール送信動作を行います。

送信エラーメールは最大5件まで保持されます。れんら君の電源が切られた場合、保持していたメール内容は破棄されますのでご注意ください。

※ 無線 LAN 接続時にメール送信エラーとなった場合、無線の再接続に1分程度時間がかかり、連続してメール送信しようとしてもエラーになりますのでご注意ください。

6-5 FAQ

Q: れんら君の設定画面が開けません。サーチしてもれんら君が見つかりません。

A: 有線 LAN の場合、LAN ケーブルが正しく接続されているかなどを見直してください。

また、れんら君とパソコンのネットワークセグメントが一致しないと、設定画面へのアクセスはできません。

サーチで見つからないときは DHCP サーバーが無い環境である可能性が高いです。

その場合、れんら君の IP アドレスは「192.168.251.1/24」になりますので、

パソコンの IP アドレス設定を、

IP アドレス	: 192.168.251.x (x は 2～254 の数字)
サブネットマスク	: 255.255.255.0

に変更後、試していただく方法があります。

無線 LAN の場合、れんら君と同じネットワークに接続されているかなどを見直してください。

Q : テストメールが送信できません。

A : SMTP サーバー設定、および、ネットワーク設定に問題がある可能性が高いです。

SMTP サーバー名、アカウント名、パスワードなどをメールプロバイダの資料などでよくご確認ください。

STARTTLS、SSL/TLS(SMTPS)を使用する場合はセキュリティ証明書が必要になります。

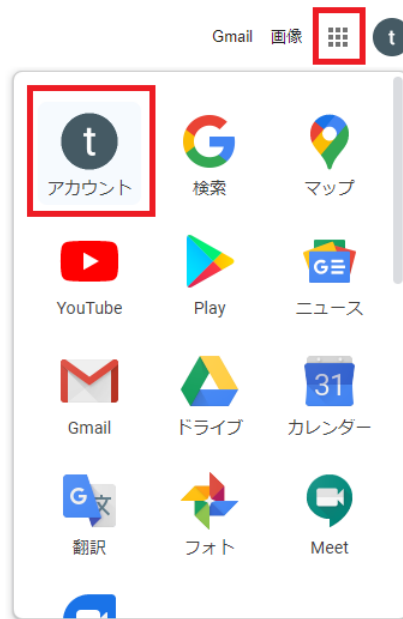
「4-3 SSL 証明書設定ファイルの作成」以降を参照し、証明書をれんら君にインストールし、再度お試しください。

※ メールサーバーの仕様によっては、設定が正しくできているにも関わらず、メール送信が正常に行えない場合もあります。

例えば、Gmail を使用する場合は、安全性の低いアプリの許可を有効にする必要があります。

この設定はデフォルトで無効になっていますので、下記手順を参考にして設定を変更してください。(下記の例は 2021 年 9 月時点でのものです)

ブラウザを起動し、<https://www.google.com/>にアクセスし、google アカウントにログインします。画面右上のメニューから「アカウント」をクリックします。



「セキュリティ」をクリックし、「安全性の低いアプリのアクセス」設定の「アクセスを有効にする（非推奨）」をクリックします。

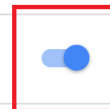


「安全の低いアプリの許可：有効」になるようにスイッチをクリックします。

← 安全性の低いアプリのアクセス

一部のアプリやデバイスでは安全性の低いログイン技術が使用されており、アカウントが脆弱になる恐れがあります。こうしたアプリについてはアクセスを無効にすることをおすすめします。有効にする場合は、そのようなリスクをご理解のうえでお使いください。この設定が使用されていない場合は自動的に無効になります。 [詳細](#)

安全性の低いアプリの許可: 有効



※ Yahoo メール、Gmail、Outlook などのフリーメールを使用する場合、急な仕様変更が発生し、れんら君がメール送信できなくなる可能性があることをご理解の上、注意してご使用ください。

NKE株式会社 [旧社名(株)中村機器エンジニアリング]

商品に関するご質問は、フリーダイヤル、もしくはE-メールにてお問い合わせください。
(AM. 9:00~PM. 5:00 土日、祝祭日休み)

 **0120-77-2018**
 promotion@nke.co.jp

- NKE 本社工場 〒612-8487 京都市伏見区羽東師菱川町 366-1
 - NKE ホームページ : <https://www.nke.co.jp/>
 - お断りなくこの資料の記載内容を変更することがありますのでご了承ください。
- ©2024 NKE Corporation